

縮尺 20 万分の 1

土地分類図付属資料

北海道 V (渡島・桧山支庁)

昭和 52 年

国土庁土地局

縮尺 20 万分の 1 土地分類図付属資料

目 次

利用者のために

A 土地条件等の概要の部

1 地形区分とその性状等の概要	7
2 表層地質の分布とその性状等の概要	11
3 土壌の分布とその性状及び生産力可能性等の概要	14
4 土地利用可能性分級等の概要	21
4-1 土地利用現況の概要	21
4-2 土地利用可能性分級の地域別概要	24

B 統計の部

1 土地利用現況	28
1-1 市町村別土地利用現況内訳	28
1-2 D・I・D おおむね 10 万人以上の都市の土地利用現況の内訳	32
2 自然的土地条件	34
2-1 市町村別傾斜区分別面積内訳	34
2-2 市町村別標高区分別面積内訳	35
2-3 市町村別地形区分別面積内訳	36
2-4 市町村別表層地質分布面積内訳	38
2-5 市町村別土壌統群分布面積内訳	46
3 土地利用可能性分級	52
3-1 市町村別土地利用可能性分級別面積内訳	52
3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連	54
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	54
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	54
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連	56
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連	56
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	58
3-4 市町村別土地利用可能性分級別内訳	60

利用者のために

1 編集方針

この付属資料は、縮尺20万分の1土地分類図についての概要説明と、面積統計とに区分されるが、面積統計については、以下の要領により作成したものである。

例えば、2-1表「市町村別傾斜区分別面積内訳」は、「傾斜区分図」(オーバーレイ)を市町村の行政区画単位に面積測定して作成したものであり、3-2-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」については、「土地利用可能性分級図」及び「地形分類図」を用い、前者の類地パターンと、後者の地形区分のパターンとを重ね合わせて面積を測定し、両者の面積的関連を把握して作成したものである。

但し、1-1表「市町村別土地利用現況内訳」及び1-2表「D. 1. Dおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」については、北海道における各種統計資料等を調整して作成したものである。

なお、縮尺20万分の1土地分類図の各図幅と、付属資料の統計表との関連を示すと次表のとおりである。

統計表の名称	土地分類図等の名称										
	1 地形 分類 図	2 起伏 量・谷 密度 図	3 傾 斜 区 分 図	4 表 層 地 質 分 類 図 (平面的分類図)	5 表 層 地 質 分 類 図 (垂直的地分類図)	6 土 壤 分 類 図	7 土 壤 生 産 力 可 能 性 分 級 図	8 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図 (土地利用現況図)	9 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図	10 標 高 区 分 図	11 道 統 計 資 料 等
1-1 市町村別土地利用現況内訳											○
1-2 D. 1. Dおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳											○
2-1 市町村別傾斜区分別面積内訳			○								
2-2 市町村別標高区分別面積内訳										○	
2-3 市町村別地形区分別面積内訳	○										
2-4 市町村別表層地質分布面積内訳				○							
2-5 市町村別土壌統群分布面積内訳						○					
3-1 市町村別土地利用可能性分級別面積内訳									○		
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	○								○		
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連			○						○		
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連									○	○	
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性等級区分との関連							○		○		
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4 市町村別土地利用可能性分級別内訳									○		○

II 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積値は、各図の図示表現の技術的な制約、即ち縮尺20万分の1土地分類図の場合には、最小図示単位として1Km²（図上5mm²）を限度としたため、実在の面積とは一致しない場合もあると考えられる。特に、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあっては、やゝ少な目に数値が出る傾向がある。

したがって、この種の面積については、項目毎の絶対値を使用するのではなく、概括的な把握、ないし項目の構成比率等の利用に配慮されたい。

III 表中の記号について

「0」は数値が掲載単位に満たないもの

「-」は該当事実のないもの

「 」(空白)は編集時において資料がなく不明のもの

IV 調査機関一覧

調査項目	機 関 名	所 在 地
総括調整	北海道開発調整部	札幌市中央区北3条西6丁目 〒060-91 TEL 011-231-4111(内線2432)
地形分類	北海道教育大学 札幌分校(奈良部理) 函館分校(瀬川秀良) 岩見沢分校(野川 潔) 旭川分校(小杉健三)	札幌市中央区南24条西13丁目 〒064 TEL 011-561-4281 札幌市中央区南24条西13丁目 〒064 TEL 011-561-4281 函館市人見町22-4 〒040 TEL 0138-41-1121 岩見沢市緑ヶ丘 〒068 TEL 01262-2-1470 旭川市北門町9丁目 〒070-01 TEL 0166-51-6151
表層地質	北海道立地下資源調査所	札幌市中央区南11条西3丁目 〒060 TEL 011-511-0111
土 壤 農 地 林 地	農林省北海道農業試験場 農林省林業試験場北海道支場 北海道立林業試験場	札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 〒061-01 TEL 011-851-9141 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 〒062 TEL 011-851-4131 美唄市光珠内町東山 〒079-01 TEL 01226-3-4164
土地利用状況	北海道開発調整部	札幌市中央区北3条西6丁目 〒060-91 TEL 011-231-4111(内線2432)
土地利用可能性分級	農林省北海道農業試験場	札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 〒061 TEL 011-851-9141

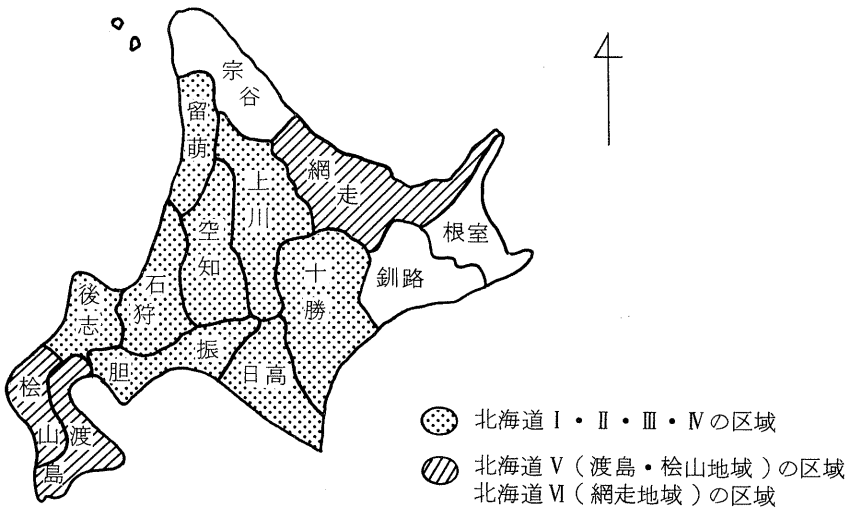
V 縮尺 20 万分の 1 土地分類調査のすすめ方

北海道を5ブロックに区分し、次表のスケジュールにより昭和47年から昭和52年の6カ年で調査することとしている。

地区 番号	調査 年度	支庁名 (地域名)	面積	図幅 区分	図幅単位 別面積 (km ²)
I	47~48	石狩	3,551(km ²)	1	11,555 (km ²)
		後志	4,302		
		胆振	3,702		
II	48~49	十勝	10,831	2	10,831
		日高	4,838	3	4,838
III	49~50	上川	9,870	4	9,870
		空知	6,586	5	6,586
IV	50~51	網走	10,687	6	10,687
		渡島	3,726		
		檜山	2,855		
V	51~52	宗谷	4,076	8	8,105
		留萌	4,029		
		根室	3,459	9	9,462
		釧路	6,003		
47~52		計	78,515		78,515

注 歯舞諸島、色丹島、国後、択捉島を除く。

支庁行政区域図



A. 土地条件等の概要の部

1. 地形区分とその性状等の概要

1-1 総説

渡島・檜山地域（渡島支庁及び檜山支庁官内）は北海道の南部を占める渡島半島の大部分をなしており、その地形は石狩低地帯以東の北海道本島よりはむしろ、東北地方に類似した性格の所と考えられているように、一般に山勝の地形をなしている。渡島半島には遊楽部岳（1,276m）や乙部岳（1,017m）があり、渡島半島の先端は二つに分れ東の亀田半島と西の松前半島となる。何れも大部分は山地をなし、亀田半島にあっては駒ヶ岳（1,140m）、恵山（618m）函館山（334m）の火山が噴出している。

渡島・檜山地域の丘陵地・台地としては、今金・瀬棚地方、江差地方、函館地方奥尻島に比較的広い台地が見出され、その他松前地方、内浦湾岸、函館湾西岸、熊石・大成地方等にも台地が発達し、何れも砂礫台地が多い。

渡島・檜山地域が全体として山勝の地形であるため低地は少なく、扇状地性低地が利別川、長万部川、遊楽部川、厚沢部川、天の川、知内川等の河川沿いに分布するにすぎず、三角州性低地はこれら河川の河口に見出され、また函館湾岸、長万部・八雲地方、知内付近では比較的広く分布している。

1-2 地形区分

渡島・檜山地域の地形を、地形のまとまりの上からつぎのように分類した。分類する場合は大きなまとまりを重視し、細かい地形はある程度省略した。

大分類

- A I 狩場山地
- A II 遊楽部山地
- A III 大千軒山地
- A IV 横津山地
- A V 駒ヶ岳火山地
- A VI 恵山火山地
- A VII 函館山地
- A VIII 渡島大島火山地
- A IX 渡島小島火山地
- A X 奥尻島山地
- B I 日本海沿岸台地
- B II 内浦湾沿岸台地
- B III 函館湾沿岸台地
- C I 日本海沿岸低地
- C II 内浦湾沿岸低地
- C III 函館湾沿岸低地

1-3 地域別の地形区の概要

A I 狩場山地

狩場山(1,520m)、カスベ岳(1,049m)、メップ岳(1,147m)の様に1,000mを越す山地や、長万部岳(972m)の様に1,000m近い山地よりなる地域が北方にあり、南方に向って高度、起伏を減じている。狩場山付近では大起伏山地をなし、カスベ岳、メップ岳、長万部岳付近では中起伏山地をなしている。狩場山が日本海に面する所では茂津多岬の急崖をなしている。

A II 遊楽部山地

前者とは左股川と遊楽部川の上流のセイヨウベツ川を結ぶ線で境される。遊楽部岳(別名見市岳1,276m)や乙部岳(1,017m)を代表的山岳とする地域で、両山周辺地域は大起伏山地をなしている。遊楽部岳と乙部岳を結ぶ地域と毛無山(816m)周辺は中起伏山地をなし、全体としても中起伏山地が多く、渡島半島の脊梁山地をなしている。

A III 大千軒山地

前者とは厚次部川の上流の鶉川と中山峠や大野川を結んだ線で境される。大千軒岳(1,072m)、前千軒岳(1,053m)を主峰とする地域で、両山地周辺は大起伏山地をなし急峻である。津軽海峡に面した南部の山地は全般的に中起伏山地をなして居り、北部に向って次第に高度を減じ、小起伏山地となる。

松前半島先端付近で中起伏山地と小起伏山地との境界が南化に直状状にのびているが、これはいわゆる古生層と新第三紀層との境界に近く、岩石の硬軟の差が起伏量の差となってあらわれたものと思われる。また、及部川、大松前川付近で、小起伏山地が中起伏山地に谷状に入りこんでいるが、これは“古生層”と新第三紀層の境界に類似した形を示しており、これも岩石の硬軟の差が起伏にあらわれたものと考えられる。

A IV 横津山地

横津岳(1,167m)を中心とする亀田半島の山地で、横津岳周辺と丸山(691m)付近に中起伏山地があり、他は小起伏山地をなしている。

A V 駒ヶ岳火山地

駒ヶ岳は歴史時代に入ってから活動し、最近では昭和4年以後もたびたび活動している活火山で、特異な山形をなしている。山麓には流れ山が多数存在し、堰止めによる大沼、小沼、蓴菜沼等の潮沼が生じている。

A VI 恵山火山地

北海道最南端の二重式成層火山で活火山である。賽の河原とよばれる火口原、350~400mの外輪山があり、火口原南東端に溶岩円頂丘をなす中央火口丘がある。

A VII 函館山地

函館山(334m)を中心とした山地で、かつては島をなしていたと思われるが、現在は砂州によって渡島半島とつながり、陸繋島となっている。

A VIII 渡島大島火山地

松前半島の西約50kmの日本海にある火山で、火山島をなす。東山外輪山、西山外輪山、中央火口丘よりなる三重の火山構造をもっている大起伏火山地である。海岸は海蝕作用をうけ断崖絶壁が多い。

A K 渡島小島火山地

松前半島の西約20kmにあり、小起伏をなす小火山島である。海岸は急崖が多い。

A X 奥尻島山地

島の大部分は台地をなすが、台地以外の部分は山地である。

B I 日本海沿岸台地

日本海沿岸の丘陵地、台地を総称する。大部分は台地であり丘陵地は少なく、利別川下流左岸と姫川下流右岸に見られるにすぎない。

日本海沿岸台地はつぎのように細分される。

B I-1 今金台地

B I-2 北檜山台地

B I-3 熊石台地

B I-4 乙部台地

B I-5 江差台地

B I-6 松前台地

B I-7 奥尻島台地

これらのうちで、比較的分布の広いのは今金台地、北檜山台地、江差台地、奥尻島台地である。その他は比較的小規模である。

何れも砂礫台地が大部分を占めるが、江差台地及び奥尻島台地には岩石台地も存在する。

B II 内浦湾沿岸台地

内浦湾に面した台地でありこれをつぎのように細分する。

B II-1 長万部台地

B II-2 大関台地

B II-3 八雲台地

B II-4 森台地

B II-5 駒ヶ岳台地

駒ヶ岳台地をのぞいて何れも台地としては小規模のものが多く、砂礫台地をなしている。大部分は海岸に面し海成台地と思われるが、大関台地のみは河成台地である。駒ヶ岳台地は火山砂礫からなる火山灰砂台地である。

B III 函館湾沿岸台地

函館湾に面した台地である。これをつぎのように細分する。

B III-1 函館台地

B III-2 当別台地

函館台地は函館低地の東に分布し、比較的発達がよく、古扇状地性のもも包含している。当別台地は小規模の台地である。両台地とも砂礫台地である。

以上の台地は何れも高度、比高等を考慮して上位、中位、下位の台地に分類したが、現状においてはこれらの対比はきわめてむずかしい。

C I-1 日本海沿岸低地

これをつぎのように細分する。

C I - 1 利別川低地

C I - 2 厚沢部川低地

C I - 3 天の川低地

これらは何れも利別川、厚沢部川、天の川沿いに見られる扇状地性低地や三角州性低地、砂丘等であり、地形の関係上何れも小規模である。

C II 内浦湾沿岸低地

これをつぎのように細分する。

C II - 1 長万部川低地

C II - 2 遊楽部川低地

長万部川と遊楽部川沿いに分布する扇状地性低地や三角州性低地、砂丘等である。

C III 函館湾沿岸低地

これをつぎのように細分する。

C III - 1 函館低地

C III - 2 知内川低地

函館低地は大野川や戸切地川沿いの扇状地性低地と、函館市街地北方に分布する三角州性低地や砂丘、砂州等である。

知内川低地は知内川沿いの扇状地性低地と下流の三角州性低地である。

瀬川秀良（北海道教育大学函館分校）

2. 表層地質の分布とその性状等の概要

2-1 一般地質

この地域は、東日本内帯の北方延長とされるところで、先第三紀の堆積岩層とその中に進入した深成岩類からなる基盤の上に新第三紀から現世にかけての堆積岩層や火成岩類が広く発達する、いわゆるグリーンタフ地域であり、新第三紀初期以降に繰り返される火山活動の続いたところである。このため全域にわたり広く火山噴出物の分布がみられる。

2-1-1 渡島地域

この地域は、渡島半島の東半部、松前半島、および亀田半島を含むところで、主として新第三紀の堆積岩類や火成岩類によって構成されている。

固結～半固結堆積物は、先第三紀の基盤岩類と新第三紀岩類にわけられる。先第三紀層は、松前半島西半部、函館西方上磯地域、および亀田半島中南部に分布しており、粘板岩を主体とし、砂岩、チャート、石灰岩、輝緑凝岩石を挟んでいる。新第三紀層は、中後期中新世の泥岩を主体としており、ついで鮮新世の砂岩が多い。泥岩はほぼ全域にわたり分布するが、とくに松前半島の南東部はほとんど泥岩によって構成されている。鮮新世の砂岩は、一部に優勢な礫岩を含むもので、八雲付近に広くみられる。なお、上磯付近には黒松内期とされる砂岩泥岩互層が多く発達する。

未固結堆積物は第四紀更新統～完新統に属する。第四紀更新統のものには、砂・礫・粘土、および礫・砂がある。砂・礫・粘土は、長万部付近に分布するものが代表的なもので、そのほか大野平野西縁部などにみられる。礫・砂は段丘堆積物で、函館、松前および八雲付近に広く分布するほか、海岸地域に点在する。更新統から完新統にかけてのものには、碎屑物と礫がある。碎屑物は山麓部に分布するが、小規模なものは省略し、恵山と横津岳山麓のもののみを図示した。礫は扇状地の堆積物で、大野平野周辺、および八雲南方の砂蘭部川に広く発達する。完新統のものは、泥炭、砂、礫・砂・粘土である。泥炭は、大野平野、八雲付近、長万部付近の低地帯の一部に分布する。砂は、海浜砂や砂丘などであるが、海岸地域に広く分布する。礫・砂・粘土は、各河川ぞいに分布するもので、いわゆる氾らん原堆積物である。

火山性岩石は、新第三紀中新世から第四紀完新世にかけてのもので、火山角礫岩質岩石がもっとも広く発達しており、ついで安山岩質岩石が多い。このほか、凝灰岩質岩石、流紋岩質岩石、玄武岩質岩石などが新第三紀に属する。火山角礫岩質岩石は、中新世後期の黒松内期のものがほとんどで、安山岩質岩石とともに、函館地方から八雲西方にかけての山地に優勢に分布している。第四紀更新統から完新統に属するものは、恵山、駒が岳、森西方の濁川盆地周辺などにみられる。更新統のものには亀田半島の山地を構成する安山岩質岩石が多く、完新統には火山碎屑物に一括した火砕流や軽石流などの未固結の火山噴出物が多い。

深成岩類としては、松前半島南端部に先第三紀層中に進入した花崗岩質岩石がみられるほか、新第三紀中新世に形成された斑岩などがある。

2-1-2 檜山地域

この地域は、渡島半島の西半部を占めるところで、先第三紀およびその中に進入した深成岩類が広く発達することを特徴としている。

固結～半固結堆積物には、先第三紀の粘板岩と新第三紀の泥岩、砂岩泥岩互層、砂岩などがある。粘板岩は、江差、乙部、大成、今金北方などの山地に分布しており、砂岩、チャート、輝緑凝灰石などを挟在している。新第三紀の泥岩はほぼ全域に分布するがとくに南部に多い。砂岩泥岩互層は、厚沢部、乙部、北檜山、今金付近の丘陵地を構成して分布しており、一部に凝灰質岩石を挟在している。砂岩は、今金周辺に多く、山地に分布するものと、丘陵地を構成するものがある。前者は中期中新世のもので、凝灰岩質岩石と共に分布し、後者は鮮新世に属するもので、一部に礫岩を挟在する。

未固結堆積物は、第四紀更新統および完新統に属するもので、分布はあまり広くない。更新統のものには、砂・礫・粘土、および礫・砂があるが、前者は瀬棚付近に一部みられるだけでほかには分布しない。礫・砂は、段丘堆積物で、今金、北檜山、瀬棚付近、厚沢部、乙部付近、および奥尻島などに広く分布するほか、海岸地域に点在する。完新統のものは、泥炭、砂、礫、砂・粘土で、泥炭は、利別川流域の湿地帯、および厚沢部川下流部にみられる。砂は、砂丘および海浜砂で、大型河川の河口付近に発達しており、代表的なものは利別川河口や厚沢部川河口にみられる。礫・砂・粘土は、各河川ぞいの氾らん原を構成する堆積物である。

火山性岩石は、新第三紀中新世から第四紀更新世にかけたもので、更新世のものは瀬棚北方の狩場山を構成する安山岩質岩石、および奥尻島の火山碎屑物だけである。新第三紀のものには、角礫岩質岩石と凝灰岩質岩石が優勢に発達するほか、安山岩質岩石も比較的広い分布をしめす。流紋岩質岩石と玄武岩質岩石も小規模ながら各地に点在する。

深成岩類は、先第三紀の粘板岩層中に進入した花崗岩質岩石と新第三紀の斑岩である。前者は、花崗閃緑岩質のもので、今金地域にもっとも広く分布するほか、熊石、大成、北檜山、奥尻島に多い。斑岩は、石英閃緑岩質のものを主体としたさまざまな岩質のもので、北檜山のほか各地に点在している。なお、花崗岩質岩類に接する粘板岩は、熱変質をうけてホルンヘルスになっているところがあるが、広く発達するところはないので省略した。

2-2 応用地質

地区内には地下資源として有用鉱物、温泉、骨材などの資源が賦存している。また、資源とは別に地すべり地や崩壊地などが各地にみられる。これらのうち主要なものを図示した。

2-2-1 渡島地域

この地域には、有用鉱物として各種の金属および非金属鉱床が賦存しており、かつては多くの鉱山が稼働していたが、現在は上磯の石灰石鉱山および松前のタルクだけが操業中である。金属鉱物としては、銅、鉛、亜鉛、マンガン、硫化鉄、鉄（褐鉄鉱および砂鉄）などで、硫化鉄や鉄を除いた鉱物は、亀田半島や八雲西南方の山地に点在し、褐鉄鉱や硫黄鉱床は亀田半島とくにその東半部に多く分布している。また、砂鉄は、八雲から長万部にかけて内浦湾沿岸に連続してみられるほか亀田半島にかけての海岸の各地に点在している。非金属鉱物としては、石灰石のほか、松前半島の重晶石やタルクおよび長万部付近のゼオライトがあげられる。長万部には、石油および天然ガスを湯出する井戸があ

り一部利用されている。

温泉は、各地に分布するが、とくに濁川温泉は、現在地熱資源として開発中である。骨材は、八雲南部から亀田半島地域にかけた安山岩質岩石および玄武岩質岩石の一部を採石している。

2-2-2 檜山地域

この地域にも多くの金属非金属有用鉱物の分布がみられるが、稼行中の鉱山は上国鉱山と今金のゼオライトだけである。金属鉱物としては、金・銀・銅・鉛・亜鉛・マンガンなどで、上国南方、大成東方今金地方の山地に分布している。上国南方では、一時採掘された石炭層がある。また、大成から北檜山にかけた地帯には数多くの酸化マンガン鉱床が分布し採掘されたが、現在残っているものはない。

温泉も各地に分布しているが、とくに見市、平田内、見取潤、白別、および奥尻島の幌内の各温泉は高温である。骨材は安山岩質岩石や玄武岩質岩石を対象に採石されているが、粘板岩中に挟在する砂岩の一部も利用されている。なお、熊石付近の新第三紀泥岩の分布する地帯にはいちじるしい地すべりがみられ、現在もときに滑動している。

酒 匂 純 俊（北海道立地下資源調査所）

3. 土壌の分布とその性状および生産力可能性などの概要

3-1 土壌の類別および作図の方法

本調査における土壌の類別は、表-1の土壌統群一覧表に示した基準にしたがって実施した。

表-1 土壌統群一覧表

大分類 (土壌群)	中分類 (土壌亜群)	小分類 (土壌統群)
岩石地	岩石地	岩石地※
岩屑土	高山性岩屑土	高山性岩屑土※
	岩屑土	岩屑土※
未熟土	残積性未熟土	残積性未熟土壌
	砂丘未熟土	砂丘未熟土壌
		湿性砂丘未熟土壌
火山抛出物未熟土	火山抛出物未熟土壌 粗粒火山抛出物未熟土壌 湿性粗粒火山抛出物未熟土壌	
くろぼく土	累層くろぼく土	累層くろぼく土壌 湿性累層くろぼく土壌
	くろぼく土	くろぼく土壌 a (くろぼく土)
		くろぼく土壌 b (ローム質くろぼく土) 湿性くろぼく土壌 a (くろぼく土) 湿性くろぼく土壌 b (ローム質くろぼく土)
	未熟くろぼく土	未熟くろぼく土壌 湿性未熟くろぼく土壌
淡色くろぼく土	淡色くろぼく土壌 a (くろぼく土) 淡色くろぼく土壌 b (ローム質くろぼく土)	
褐色森林土	褐色森林土	乾性褐色森林土壌※ 褐色森林土壌※ 湿性褐色森林土壌※ 褐色森林土壌Ⅳ
	暗色系褐色森林土	暗色系褐色森林土壌※
ポドゾル	乾性ポドゾル	乾性ポドゾル化土壌※
	湿性ポドゾル	湿性ポドゾル化土壌※
赤黄色土	赤色土	赤色土壌
暗赤色土	火山性暗赤色土	火山性暗赤色土壌
褐色低地土	褐色低地土	褐色低地土壌 粗粒褐色低地土壌
灰色低地土	灰色低地土	細粒灰色低地土壌 灰色低地土壌 細粒灰色低地土壌
	灰色台地土	灰色台地土壌
グライ土	グライ土	細粒グライ土壌 グライ土壌 粗粒グライ土壌
	グライ台地土	グライ台地土壌
泥炭土	高位泥炭土	高位泥炭土壌
	中位泥炭土	中位泥炭土壌
	低位泥炭土	低位泥炭土壌

※単独では図示せず、他の土壌統群との組合せ(混在区)で図示した。

図示単位は原則として土壤統群を使用した。山地・丘陵地地域の土壤のうち、線状あるいは小斑状に細かく分布するために、本縮尺では図示困難ないくつかの土壤統群については、それらの混在相の規則性にもとづいて、表-2に示すように12の土壤混在区を設け、それを作図単位とした。すなわち、表-1において※印のついた9つの土壤統群は、それぞれ単独では図示単位として使用されておらず、他の土壤統群との組合せ（土壤混在区）で図示されている。なお、分級、面積計測など土壤図を使った一連の作業は、表-1の土壤統群（※印を除く）と表-2の土壤混在区について行なった。

表-2 混在相図示単位一覧表
(山地・丘陵地について)

土 壤 混 在 区	主要構成土壤（統群）
高山性岩屑土壤 — 岩石地 岩屑土壤 — 岩石地	高山性岩屑土壤・岩石地（モザイク配列） 岩屑土壤・岩石地（モザイク配列）
褐色森林土 I 褐色森林土 II 褐色森林土 III	乾性褐色森林土壤（尾根筋）・褐色森林土壤（中腹）・湿性褐色森林土壤（斜面下部）のカタナ配列、面積比で乾性が25%以上をI、湿性が25%以上をIII、乾湿それぞれ25%未満をIIとした。
褐色森林土 — 粗粒火山抛出物未熟土壤 褐色森林土 — くろぼく土	
褐色森林土 — 乾性ポドゾル化土壤	
暗色系褐色森林土 — ポドゾル化土壤	褐色森林土壤・粗粒火山抛出物未熟土壤 褐色森林土壤・各種くろぼく土壤 褐色森林土壤（山腹）・乾性ポドゾル化土壤（尾根筋）
ポドゾル化土壤 I	暗色系褐色森林土壤（山腹）・ポドゾル化土壤（主に乾性、尾根筋） 乾性ポドゾル化土壤・暗色系褐色森林土壤・褐色森林土壤
ポドゾル化土壤 II	湿性ポドゾル化土壤・乾性ポドゾル化土壤・暗色系褐色森林土壤・褐色森林土壤
ポドゾル化土壤 — 高山性岩屑土壤	ポドゾル化土壤（主に乾性、ハイマツ群落下）・高山性岩屑土壤

本図幅における山地・丘陵地・台地および低地の土壤は、土壤群8、土壤統群27、混在区10に分類された。

柱状図は、表-1の土壤統群ごとに示した。

各種土壤の分布、生産力との関連について概説すれば、つぎのとおりである。

3-2 山地および丘陵地の土壤

3-2-1 全域の概説

本地域の山地・丘陵地は駒ヶ岳（1,133m）、恵山（618m）および渡島大島などの火山抛出物の降下堆積物によっておおわれ、全域のほとんどの土壤表層には多少とも火山抛出物の層がみられる

が、地質構造ならびに侵蝕程度の差異により、土壌断面の形態は異なっている。

山地に分布する土壌は新期の火山灰によりおおわれていることが多い。一方丘陵地の緩斜面に分布する土壌は表層に新期火山灰、下層に古期火山灰（ローム質）の堆積物を母材とした土壌が多い。

このような地域における農地と林地との面積割合を見ると、ほとんど林地からなりその占有面積は82%である。したがって林地（山地・丘陵地）に分布する各種土壌の面積割合をみると、表-3のようになる。

表-3 主な土壌群の分布面積

土 壌 群	土 壌 統 群	林地に対する（全域に 面積割合（対する）	備 考
褐色森林土	I、II、III	54.8 % (44.9)%	海拔高 100~800m 西部、1部東部に分布
未 熟 土	火山抛出处未熟土壌 粗粒火山抛出处未熟土壌 湿性粗粒火山抛出处未熟土壌	10.1 (8.2)	海拔高 50~600m 駒ヶ岳周辺に分布
くろぼく土	くろぼく土壌・くろぼく くろぼく土壌・ローム質くろぼく 未熟くろぼく土壌	10.5 (8.6)	海拔高 50~100m 1部 200~400m 江差・七飯周辺に分布
混在区(A)	褐色森林土壌—粗粒火山抛出处 未熟土壌 褐色森林土壌—くろぼく土壌	11.5 (9.4)	海拔高 50~150m 1部 400~500m 全域に点在分布
混在区(B)	褐色森林土壌—ポドゾル化土壌 暗色系褐色森林土壌—ポドゾル化土壌	7.7 (6.4)	海拔高 600~700m以上 全域に点在分布

褐色森林土壌群は約50%の占有面積を示すが、他のものはやや類似面積の10%前後で、前者に較べて約1/5程度である。分布範囲をみると、海拔高約200~600mで西部に多く、1部東部にみられる。

未熟土壌群は主として駒ヶ岳に由来するもので駒ヶ岳周辺に分布し、1部恵山山麓にもみられるが、これらはいずれも粗粒または礫質である。

くろぼく土壌群は噴出源である駒ヶ岳より遠方の地域の比較的地形が安定した低部緩斜面および平坦段丘面などに火山灰が累積し、そこに出現分布している傾向がみられる。主として江差および七飯周辺に多い。またこの土壌群は排水の良好な場所には累層くろぼく土壌、くろぼく土壌（くろぼく、ローム質）、未熟くろぼく土壌が分布し、一方排水の思わしくないところでは、それらの土壌の湿性のものが分布している。

混在区(A)は、八雲以南、厚沢部および八雲以北に見られる。八雲以南と厚沢部のものは火山抛出处未熟土壌と混在し、また八雲以北のものは未熟くろぼく土壌およびくろぼく土壌と混在している。これらはほぼ褐色森林土壌群域の低部に分布し、比較的開析された地形のところが多い傾向が認められる。

混在区(B)は海拔高約600~700m以上の山地で急斜面を有するところに出現する。分布は点在

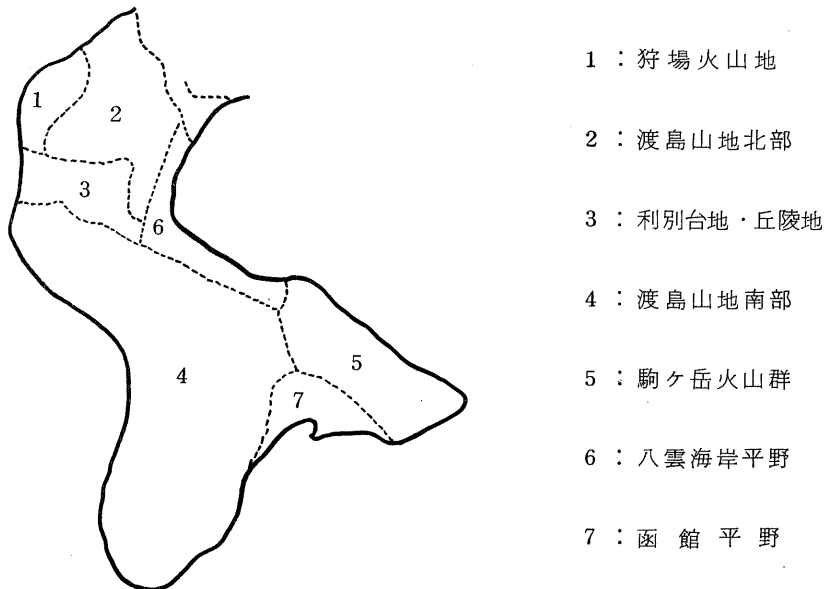
し面積 7.7%である。

褐色森林土壌群のうち褐色森林土(Ⅱ)は前者の混在区(B)より低部への移行部の緩～急斜面に分布する。褐色森林土壌群中約48%を占める。褐色森林土(Ⅰ)は主として松前半島の高地に多い。褐色森林土(Ⅲ)は本図幅の各河川流域に分布するが、これらはいずれも分布面積は僅かである。

これら山地・丘陵地には低海拔地から一般的に(後述する駒ヶ岳火山群地域を除く)くろぼく土、褐色森林土、暗色系褐色森林土、ポドゾル化土壌、高山性岩屑土壌という垂直構成が見られる。ポドゾル化土壌は褐色森林土の分布領域において比較的乾燥を受け易い尾根部に生成されていることが多く、そのポドゾル化の程度は全般的に弱い。また海拔高を増すにしたがい暗色系褐色森林土とカタナを形成しているが、ポドゾル化の程度はさほど進行していない。本地域の高海拔地にはくろぼく土および未熟土壌の少ないことが知られた。

つぎに本地域の山地・丘陵地を地域区分すれば、渡島山地南部、渡島山地北部、駒ヶ岳火山群、利別台地・丘陵地・狩場火山地の5つに分けることができる。(図-1参照)

図-1 渡島・桧山地域の地形による地域区分



これらの地域における土壌の分布および特徴について述べてみる。

3-2-2 渡島山地南部地域

この地域は本図幅の南東に位置する大千軒岳(1,072m)から乙部岳(1,017m)さらに北西部の遊楽部岳(1,276m)にかけての地域である。山地の大部分は褐色森林土Ⅱ群域からなり1部にⅠおよびⅢ群域が見られるが、その分布面積は僅かである。とくにⅠ群域の出現分布は松前半島の高地に多いことが目立った。

さらに高い山地には褐色森林土-乾性ポドゾル化土壌群域が、また700m以上の高地に至ると暗色系褐色森林土-乾性ポドゾル化土壌群域が出現分布している。これらは局部的に分布しその面積

も少ない。さらに高山帯にはポドゾル化土壌－高山性岩屑土壌モザイクが、2部岳、遊楽部岳および突箭山周辺に僅かに認められるにすぎない。

一方丘陵地には、乙部から上の国にかけてくろぼく土壌（くろぼく）群域が、また知内、福島、松前町の1部に累層くろぼく土壌群域がみられる。このほか褐色森林土－くろぼく土壌群域は福の里から吉堀にかけの帯と厚沢部川上流の次郎沢および頼雪沢附近に出現分布しているが、これらはいずれも褐色森林土Ⅱ群域にくらべて分布面積は小さい。

山地のほとんどが林地であり、この地域全体はブナ林で優占されているが、褐色森林土Ⅰ群域、暗色系褐色森林土－ポドゾル化土壌群域には針広混交林または針葉樹林の分布が見られる。とくに松前半島にはスギの造林が、かなり広範囲に行なわれており、良好な生育を示している。

丘陵地はシラカンバ、ナラ、イタヤなどの天然性広葉樹林でおおわれているが、生育は中庸である。

3-2-3 渡島山地北部地域

この地域は北方に位置するカスベ岳（1,049m）、ヌップ岳（1,147m）、長万部岳（972m）から南方の今金町の丘陵地にかけて区分することができ、前者の渡島山地南部地域にくらべて比較的緩傾斜面をなし、壮年的に開析された中起状の形状をなしている。

山地の大部分は褐色森林土Ⅱ群域からなり、ついで二股から写万部山および坊主山周辺に分布する褐色森林土－くろぼく土壌群域である。この両群域から海拔高を増すにしたがい暗色系褐色森林土－ポドゾル化土壌群域の分布がみられたが、これらの分布面積は比較的小さい。

山地のほとんどは広葉樹林からなるが、1部高海拔地には針広混交林がみられる。人工造林はトマツ・カラマツなどで行なわれているが、比較的良好的な生育を示しているといえよう。

3-2-4 駒ヶ岳火山群地域

本地域は森町の南東部から駒ヶ岳（1,133m）、横津岳（1,167m）、川汲峠、恵山に至る地域（函館平野部は除く）であり、その特徴は駒ヶ岳の再三による火山拋出物の被覆が厚く堆積している。

山地の大部分は北西部に粗粒火山拋出物未熟土壌群域、南東部に褐色森林土Ⅱ群域と大きく分けられる。これら両者の分布面積は広範囲にわたっている。海拔高を増すと、台場および毛無山周辺に褐色森林土Ⅰ群域、横津岳周辺に暗色系褐色森林土－乾性ポドゾル化土壌群域、さらに横津岳の高山帯に至るとポドゾル化土壌－高山性岩屑土壌群域が小面積で出現分布している。

恵山地区では火山拋出物未熟土、褐色森林土－くろぼく土壌群域が出現分布するが、極めて面積は小さい。

一方丘陵地をみると、函館平野部と接する城袋牧場から鱒川にかけて、くろぼく土壌（くろぼく）群域が分布し、丘陵地のうち最も広い面積を占めている。ついで浜町を中心とする海岸寄りには累層くろぼく土壌群域が分布する。そのほか、般法華村ならびに川汲周辺には未熟くろぼく土壌群域が、さらに紅葉山の東方に灰色台地土壌群域が僅かに分布している。

山地、丘陵地は主としてブナ林で構成されているが、そのほか針広混交林、広葉樹林も見られる。人工林はかなり広範囲に行なわれているが、1部の地域を除くと（粗粒火山拋出物未熟土壌群域）比較的良好的な生育を示しているといえよう。

3-2-5 利別台地・丘陵地

今金町の種川から瀬棚にかけて流れる利別川流域左・右両岸の台地・丘陵地地域を区分した。

この地域は褐色森林土壌－くろぼく土壌が最も広く分布する。このほか淡色くろぼく土壌、くろ

ほく、湿性未熟くろほく土および未熟くろほく土の各群域もみられるが、これらはほぼ均一の占有面積からなっている。

林地は広葉樹林から構成されている。人工造林も行なわれているが生育が中庸程度である。

3-2-6 狩場火山地域

本図幅の北西部に位置し、狩場山(1,520m)を中心とするオコッナイ岳(1,170m)、フモンナイ岳(1,337m)、東狩場山(1,319m)からなっている。特に狩場山は巨大な溶岩錐が海岸に接して存在している。

山地における土壌の分布を見ると、低山地は褐色森林土Ⅱ群域、弁天岬、藻岩岬から東方の内陸にかけて岩屑土壌-岩石地が分布し比較的面積も広い。海拔高を増すと、褐色森林土-ポドゾル化土壌、暗色系褐色森林土-ポドゾル化土壌群域が出現し、さらに狩場山の山頂近くの1,300m附近からポドゾル化土壌-高山性岩屑土壌群域が分布する。

低山地に分布する褐色森林土Ⅱ群域にはブナおよび広葉林が構成され、さらに高海拔地に分布する暗色系褐色森林土-ポドゾル化土壌群域にはダケカンバが主体をなしている。高山帯のポドゾル化土壌-高山性岩屑土壌には、ハイマツなどの分布がみられる。

低地におけるブナ林は比較的良好な生育を示し形質もよい。

本図幅において岩屑土壌-岩石地およびポドゾル化土壌-高山性岩屑土壌の地域は、広葉樹林の多い混交林が生立しているが、いずれも林木生産は望めない。景観保護に留意を要する。

海拔高600m以下の山地には褐色森林土Ⅱ群域の面積が本図幅内において約34%を占める。このような地域で大いに林業経営を積極的に進めるべきであろう。

山 本 肇(農林省林業試験場北海道支場)

3-3 台地および低地の土壌

3-3-1

本地域の農地は海岸、河川に沿って細長く分布している台地、段丘地および河川流域の低地に存在するが、本図幅において農地の占める面積比は、ほぼ20%と林地に比し極めて少ない。また本地域の農地土壌は、河川の新しい氾濫堆積物からなる低地土の一部をのぞき、火山抛出物におおわれているのが特徴的である。

3-3-2 未熟土壌群

未熟土壌群は農地の16%を占めるに過ぎないが、そのほぼ90%が粗粒の火山抛出物に厚くおおわれた未熟土でももに駒ヶ岳の周辺部に分布している。なお山麓部のものはとくに粗粒(0.5~3.0cmの軽石)のため保水性に著しく欠けており、旱害を受けやすく、客土、有機物などの十分な投与がなければ生産性は殆んど期待出来ない。一方残積性未熟土、砂丘未熟土は起伏の大きい丘陵地、海岸の砂丘地などに局部的に点在分布しているに過ぎない。なお残積性、砂丘性の未熟土でも本地域のものは火山灰の影響を受けているものが多い。

3-3-3 くろほく土壌群

くろほく土壌群は農地の60%余を占め、本地域のほぼ全域にわたり広く分布している。本土壌群に含まれる土壌はいずれも駒ヶ岳、恵山、渡島大島などから抛出された新期および古期火山灰(ローム)が厚く累積した土壌からなっている。なお各土壌の分布パターンは地形、火山灰の分布状態、層厚などと密接な関連性が見られ、累層黒ボク土壌は堆積した火山灰が殆んど流失することなく良

く保存されている平坦な台地、段丘地上に出現するが、とくに火山灰の分布域の末端部にあたる南部地域（津軽海峡面）に最も分布が広い。なお北部の噴火湾面にもその一部が出現する。また湿性累層くろぼく土壌もこれら地域の凹地部などに分布するが、下層に透水性の悪い粘質な堅密層の出現するものが多い。一方黒ぼく土壌はおもに本地域の西部（日本海面）および北部などの起状の大きい台地上に分布している。したがって火山灰（とくに上部の新期火山灰）は侵蝕を受け累層くろぼく土壌に比し薄い傾向が見られる。なお湿性くろぼく土壌もこれら地域の凹地、高丘地から低丘地に移行する裾部など地形的に集水しやすいところに出現することが多い。未熟くろぼく土壌は火山灰の噴出火山に近い奥尻、駒ヶ岳周辺部および火山灰の降灰主軸上にあたる西北部に分布している。本土壌は前記くろぼく土壌に比し、表層をおおっている降灰年代の新しい未風化火山灰層は厚く、腐植の集積も少ない。なお湿性未熟くろぼく土は比較的平坦な地形のところに出現するものが多い。以上述べたくろぼく土壌群は畑、草地として良く利用されているが生産力はやや低い。

3-3-4 褐色森林土壌群

褐色森林土壌群は図幅西部（日本海面）の丘陵地および起状の大きい台地に点在分布するに過ぎず、その面積も農地の5%に満たない。なお本土壌の大部分のものは表層を火山灰におおわれるため、黒色の腐植層をもつものが多い。

3-3-5 低地土壌群

低地土では褐色低地土壌が農地の約14%を占め最も広い。本土壌は河川流域でもとくに河岸に近く分布するものが多く、粗粒質土壌の分布が稍広い。これに比し灰色低地土壌は粗粒質の土壌は少なく、その大部は中～細粒質である。なお両土壌ともに表層を火山灰におおわれた暗色表層をもつ土壌も見られる。グライ低地土壌は泥炭地および台地などに隣接した集水しやすい条件のところに分布しており、浅い下層から泥炭あるいは地下水の現れる土壌が多く、なおまた火山灰を被覆した黒色表層をもつ土壌も少くない。現在低地土はいずれも水田として良く利用されているが、生産力も全般的に高い。

3-3-6 泥炭土壌群

泥炭土の大部分のものは低位泥炭土壌であるが、本地域のものは北部に分布する一部をのぞき火山灰、河川の氾濫土を混入するため分解は良く、大部地が水田として利用されており、生産力も比較的高い。高位および中間泥炭土壌は、おもに北部地域に出現するが、極く一部地が草地として利用されているに過ぎない。

片山 雅 弘（北海道農業試験場）

佐々木 竜 男（ ” ）

4. 土地利用可能性分級図等の概要

4-1 土地利用現況等の概要

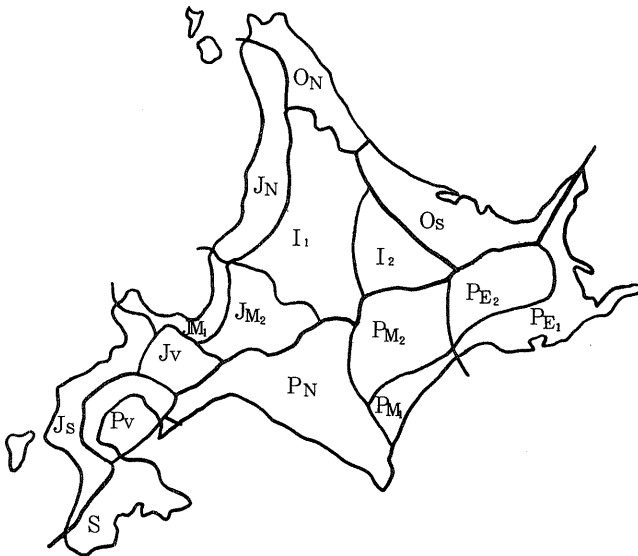
(1) 本地域（行政区域としては渡島支庁及び檜山支庁管内）は、北海道の南部に位置する渡島半島から成り、東は内浦湾（噴火湾）、西は日本海、南は津軽海峡、北は狩場山地に面する面積 6,581 km²（本道総面積の 7.9%）、人口約 58 万 6,000 人（本道総人口の 10.8%）の地域である。

地域の大部分は山地によって占められているが、南部の大野川・久根別川等の流域及び北部の利別川流域にはそれぞれ平野が形成されている。

(2) 本地域の気候は、気候区分から見ると次表のとおりであり、「南端部（S）」、「日本海側（J_s）」、「太平洋側（P_v）」に分類される。

「日本海側（J_s）」は、年平均気温 8℃内外で、最寒月平均気温も -3℃～-5℃と比較的暖く、江差では 1 月の平均気温は -1.5℃である。

北海道の気候区分



北海道の気候区分

区 分		年平均気温	最暖月平均 気温	最寒月平均 気温	降水の特徴	其他特殊事項	
S	南 端 部	8～9℃	21～23	-2～4℃	早春季少し	夏季及初秋豪 雨あり	
JS	日本 海側	南 部	8 内外	-3～-5	晩春季少し		
JM ₁		中 沿 岸		21～22	-4～-6	春季少し	
JM ₂		部 平 野	7 内外	-6～-8			
JN		北 部	6 ～ 7	20 内外	-5～-8	早春季少し	
JV		後志火山地域	5 ～ 6	21～22	-7～-9	春季少し	積雪多し
PV	太 平 洋 側	噴火湾沿岸	7 ～ 8	21～22	-5 内外	早春季少し	
PW		胆振日高沿岸		-5～-8			
PM ₁	オ ホ シ マ ラ シ 海 側	十 沿 岸	6 内外	18～20	-7～-10		初夏霧多し
PM ₂		勝 平 野		20～21	-10～-11	冬季少し	
PE ₁		根 沿 岸	3 ～ 6	17～19	-5～-8		初夏濃霧多し
PE ₂		釧 平 野		-8～-10		初夏霧多し	
OS		南 部	5 ～ 7	20内外	-7～-9	冬季春季共 少し	流氷多し
ON		北 部	4 ～ 5	20～21			
I ₁	内 盆 地 部	5 ～ 6	20～22	-8～-11	早春季少し	北部積雪多し 積雪多し	
I ₂	陸 山 岳 部	4 ～ 5	20内外	-11 以下			

(札幌管区気象台資料)

降水量は、年間1,100mm～1,300mm程度であり、降雪期間は11月上旬から4月上旬頃まで、根雪期間は12月下旬から3月上～中旬頃までである。

南端部(S)の気候はかなり温和で、年平均気温は8℃～9℃であるが、津軽海峡に突出する松前半島では10℃程度で、北海道としては、とくに温暖な地域である。

降水量は、年間1,100mm～1,300mm程度で、日本海側と同じであるが、松前半島の山間部では1,600mm～1,800mmに達するところもある。

太平洋側(Pv)の気候は、日本海側及び南端部に比べ年平均気温はやや低く、この地域では夏季も冷涼な方である。

降水量は、早春季には少ないが、夏には南東風のため増加する。長万部、国縫地方では、年降水量は1,300mm～1,400mmで降雪も多い。

(3) 土地利用現況をみると、表1-1に示すとおり、最も面積の大きいのは林地で、5,283km²、地域面積の80.3%を占めている。ついで農用地(未利用草地を含む)が544km²で8.3%、宅地は58km²で0.9%、その他は696km²で10.5%となっている。

① 農用地

1) 農地

農地面積は、農用地面積の66.9%を占める364km²であるが、農地のうち水田は164km²(全道の6.3%)で、農地面積の45.1%を占め、大野川、天の川、厚沢部川、利別川などの流域にやや大きなまとまりをもって分布している。

なお、北海道の稲作は、1850年の大野川低地における試作によってその可能性が認められ、この地が本道稲作の発祥地となっている。

畑地面積は200km²(全道の3.1%)で、農地面積の54.9%を占めている。

これらの畑地のうち、遊楽部川、利別川の流域は、道南地方における主要な酪農地帯を形成しており、また函館市の近郊では^{ユースラップ}野菜、果樹の栽培が盛んである。

2) 草地

草地面積は、未利用草地を含めると180km²で、農用地面積の33.1%を占めている。

草地のうち、利用草地は26km²で草地面積全体の14.4%であり、長万部町、八雲町、今金町などに多い。

一方、草地の大部分を占める未利用草地は、海岸に面した山地、丘陵地などに多くみられ、日本海から吹き込む強風のためササ・ススキを主とした野草地となっている。

② 林地(未立木地及び除地を含む)

林地は、主として地域の中央部を縦走する渡島山地に分布し、国有林が48.7%、公有林29.4%、私有林21.9%となっている。また、この地域の森林は、温帯林に属し、その大部分はブナを主体とする天然の広葉樹で占められているが、造林地では、南部の一部にスギ、ヒバ、アカエゾマツが見られるほかは、トドマツ、カラマツが大部分を占めている。

なお、江差町の附近がヒバの自生北限となっているほか、長万部町附近はアカエゾマツ、木古内町附近はトドマツのそれぞれ自生南限となっている。

また、森林の公益的利用としては、保安林が1,812km²指定されており、その多くは水源かん養林として大沼周辺、利別川流域に設定されている。このほか、本地域には、自然公園として、国定公園大沼(約95km²)、道立自然公園では恵山(約27km²)、檜山(約170km²)、松前矢越(約20km²)、狩場茂津多(約91km²)が設定されており、さらに天然記念物として、江差町のヒノキアスナロ及びアオトドマツ自生地、厚沢部町鶉川のゴヨウマツ自生地北限地帯、松前町のオオミズナギドリ繁殖地などがそれぞれ指定されている。

③ その他

本地域には、函館市、上磯町、大野町、土飯町を含む函館圏都市計画区域(22290ha)が設定されており、計画的な都市整備が図られている。

そのほか、福島町吉岡で青函トンネル建設工事が進められており、新幹線鉄道の建設計画と相まって道内の主要都市と本州を短期間で直結する高速輸送の実現が期待されている。

岩間 勝久(開発調整部土地対策課)

4 - 2 土地利用可能性分級の地域別概要

土地利用可能性分級は土壌生産力可能性分級、標高、傾斜を組み合わせることにより得られ、1類地から8類地まで分級することが出来る。

本図幅での土地利用可能性分級図は、土壌生産力可能性分級図をベースとし、これに標高分図を重ね、さらにこの上傾斜区分図を重ねて作成した。以上の手順で作成した分級図の各類地別の概要は次の通りである。

1類地はおもに檜山地域沿岸部に分布するが、面積は小さく本図幅の0.2%を占めているに過ぎない。本類地は全域が林地で、土壌は褐色森林土Ⅱである。

2類地は本図幅面積の5.0%を占め渡島、檜山両地域の全域に分布している。農地の土壌はいずれも河川流域低地の褐色低地土、灰色低地土である。また林地はごく一部を除き標高400m以下で、傾斜の小さい地帯が2類地に分類されている。土壌はおもに褐色森林土Ⅱ、累クロボク土、および褐色森林土-黒ボク土の混在土壌である。なお農、林地ともに地形、土壌条件には恵まれている。

3類地は本図幅面積の15.8%を占め本図幅の全域に分布している。農地では河川流域低地の低地土(粗粒褐色、粗粒灰色、グライ)、泥炭土(低位)、および傾斜3~15°の台地、丘陵地に分布するクロボク土の地帯が本類地に含まれるが、低地土の占める面積は少ない。林地ではその大部分が褐色森林土Ⅱ、累層クロボク土および褐色森林土-クロボク土の混在土壌で傾斜8~15°の地帯に分布するものが本類地に分類されている。

4類地は最も広く、本図幅のほぼ半ば(45%)を占め、全域に分布するが、渡島地域に比し檜山地域に分布は広い。農地では未熟土(粗粒火山放出物、砂丘)、泥炭土(高位、中間)の地帯が本類地に含まれている。林地は傾斜15°~30°の地帯が4類地に分類されている。なお土壌は殆んど褐色森林土Ⅱであるが、一部駒ヶ岳周辺部には粗粒火山抛出品未熟土が含まれている。

5類地は本図幅面積の21%を占め、図幅全域に分布するが、とくに渡島地域の松前、上磯、八雲、檜山地域の上の国、厚沢部などに分布が広い。標高は殆んど800m以下であるが、傾斜が一部30°以上にも及ぶ山地の褐色森林土、褐色森林土-クロボク土の混在土壌の地帯が5類地に分類されている。

6類地は本図幅面積の6.7%を占めているが、その80%は渡島地域に分布し、とくに森、七飯に広い。粗粒火山抛出品未熟土、暗色系褐色森林土および褐色森林土-ポドゾル混在土などのうち、標高800m前後、傾斜8~40°の地帯に分布するものが6類地に分類されている。

7類地は図幅面積の5%を占め、おもに狩場山、黒松内岳、遊楽部岳、駒ヶ岳、横津岳、恵山、大千軒岳など急峻な山地地域に点在分布している。土壌はおもに高山性岩屑土-岩石地、高山ポドゾル-岩屑土、暗色系褐色森林土-ポドゾル土および岩屑土-岩石地などの混在土壌である。

8類地は市街地、河川、湖沼などの未区分地が本類地に分類されるが、本図幅面積の1.4%を占めるに過ぎない。

片山 雅 弘(農林省北海道農業試験場)

佐々木 竜 男(")

山 本 肇(農林省林業試験場北海道支場)

B. 統 計 の 部

B. 統 計 の 部

区 分 市 町 村	農 地								草 地				
	田			畑					農 地 計	利 用 草 地			未 利 用 草 地 (原 野 地)
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地	果 樹 園	桑 園 其 他		計	永 牧 草 年 地	自 然 草 地	
江 差 町	8	—	8	2	0	0	—	0	10	0	0	0	5
上ノ国町	8	—	8	3	0	0	—	0	11	0	0	0	4
厚沢部町	20	—	20	7	0	0	—	0	27	0	1	1	5
乙 部 町	3	—	3	3	0	0	—	0	6	1	1	2	4
態 石 町	1	—	1	1	—	0	—	0	2	—	0	0	1
大 成 町	0	—	0	2	0	0	—	0	2	0	—	0	3
奥 尻 町	1	—	1	0	2	0	—	0	3	0	2	2	26
瀬 棚 町	2	—	2	0	9	0	—	0	11	1	1	2	3
北 桧 山 町	23	—	23	4	4	0	—	0	31	1	0	1	10
今 金 町	26	—	26	7	11	0	—	0	44	3	1	4	6
桧山地域計	92	—	92	29	26	0	—	0	147	6	6	12	67
渡島・桧山 地域	164	—	164	101	98	1	—	1	364	12	14	26	154

注1. 合計面積は、全国都道府県市区町村別面積調（昭和50年建設省国土地理院）による。

なお、境界未定のため上記の資料に扱えないものについては、北海道市町村勢要覧（昭和50年北海道編）によった。

2. 農地は、昭和51年版北海道農業基本調査結果報告書（昭和51年11月・北海道）による。

3. 草地のうち利用草地については、注2の資料による。

未利用草地（原野）は、1970年世界農林業センサス北海道統計書（林業編）による。

4. 林地は、1970年世界農林業センサス北海道統計書（林業編）による。

なお、除地は更新困難地を含む。

5. 宅地は、昭和50年固定資産税の概要調書による。

(単位：Km²)

草 地 計	林 地										宅 地	そ の 他	合 計	
	人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			除 地				林 地 計
	針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 用 地	そ の 他	計					
5	15	0	15	8	51	59	0	3	3	1	78	1	16	110
4	83	0	83	17	374	391	0	21	21	6	501	1	30	547
6	100	1	101	17	233	250	—	16	16	8	375	1	56	465
6	28	1	29	0	95	95	—	10	10	2	136	1	16	165
1	16	0	16	—	173	173	—	5	5	11	205	0	12	220
3	20	0	20	—	97	97	—	4	4	2	123	0	6	134
28	14	0	14	0	83	83	0	4	4	6	107	0	5	143
5	11	1	12	—	72	72	—	5	5	6	95	1	14	126
11	57	1	58	—	201	201	0	16	16	8	283	2	48	375
10	82	2	84	—	320	320	1	40	41	10	455	2	59	570
79	426	6	432	42	1,699	1,741	1	124	125	60	2,358	9	262	2,855
180	1,098	21	1,119	45	3,656	3,701	16	279	295	168	5,283	58	696	6,581

6. その他は、合計面積から注2～4の面積を差し引いて算出した。

7. 上記の統計資料と数値の異なるものは、数値の1Km²未満を四捨五入している。

1-2. DIDおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

区分 市	市街地の内訳						
	商業区	工業区			住宅区	運輸区	その他
		重工業地	軽工業地	計			
函館市	4 (4.25)	0 (0.82)	7 (8.12)	7 (8.94)	28 (27.58)	2	

注1. 市街地の内訳は、道告示昭和50年10月20日(変更)の市街化区域面積及び道告示昭和

- ・商業区……………近隣商業地域、商業地域
- ・軽工業地……………準工業地域、工業地域
- ・重工業地……………工業専用地域
- ・住宅区……………第1種及び第2種住居専用地域、住居地域
- ・運輸区 } ……………臨港地区等
- ・その他 }

2. 農地、草地、林地は、表1-1の市町村別土地利用現況面積内訳によった。
3. 宅地、公共用地、その他の面積は、総面積より上記1.2の面積を差引いて算出した。
4. ()書は、注1による用途地域面積及び市街化区域面積である。

(単位 Km²)

市街地計	市 街 地 外 の 内 訳							総 面 積
	農 地	草 地	林 地	宅 地	公共用地	その他	市街地 外 計	
41 (40.77)	29	3	231	44			307	348

51年2月10日(変更)の用途地域面積を参考とした。

1. 土地利用現況

1-1. 市町村別土地利用現況面積内訳

区分 市町村	農地									草地				
	田			畑						農地計	利用草地			未(原 利用 草地)
	普通田	特殊田	計	普通畑	牧草畑	樹園地			永牧草地		自然草地	計		
						果樹園	桑園	その他						
函館市	5	—	5	18	6	0	—	0	29	0	1	1	2	
松前町	1	—	1	2	1	0	—	0	4	0	0	0	23	
福島町	1	—	1	1	0	0	—	0	2	0	0	0	4	
知内町	11	—	11	2	2	0	—	0	15	0	1	1	6	
木古内町	5	—	5	1	1	0	—	0	7	0	0	0	1	
上磯町	7	—	7	4	1	0	—	0	12	0	0	0	0	
大野町	18	—	18	6	1	0	—	0	25	0	0	0	1	
士館町	13	—	13	8	3	1	—	1	25	1	1	2	0	
戸井町	0	—	0	1	0	—	—	—	1	0	0	0	1	
尻岸内町	0	—	0	1	0	—	—	—	1	—	—	—	—	
楸法華村	—	—	—	0	—	0	—	0	0	—	—	—	—	
南茅部町	—	—	—	1	—	—	—	—	1	0	—	0	1	
鹿部村	—	—	—	0	0	0	—	0	0	—	—	—	11	
砂原村	—	—	—	2	2	0	—	0	4	0	0	0	11	
森町	5	—	5	11	4	0	—	0	20	1	1	2	7	
八雲町	6	—	6	11	34	0	—	0	51	2	2	4	5	
長万部町	0	—	0	3	17	0	—	0	20	2	2	4	14	
渡島地域計	72	—	72	72	72	1	—	1	217	6	8	14	87	

(単位：km²)

草 地 計	林 地										宅 地	そ の 他	合 計	
	人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			除 地				林 地 計
	針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 用 地	採 用 し て い る 土 地	そ の 他					
3	49	0	49	—	123	123	3	53	56	3	231	23	62	348
23	18	0	18	—	204	204	—	8	8	4	234	1	34	296
4	33	0	33	—	133	133	—	3	3	2	171	1	10	188
7	52	0	52	0	104	104	—	4	4	2	162	1	13	198
1	66	1	67	0	123	123	0	6	6	3	199	1	15	223
0	62	1	63	1	141	142	1	8	9	5	219	4	28	263
1	25	0	25	—	48	48	0	4	4	3	80	2	30	138
2	49	1	50	—	61	61	—	9	9	9	129	4	53	213
1	9	0	9	—	31	31	2	0	2	1	43	1	7	53
—	18	0	18	—	61	61	—	1	1	3	83	1	11	96
—	6	0	6	0	14	14	—	0	0	2	22	0	3	25
1	24	0	24	0	121	121	—	2	2	2	149	1	7	159
11	17	1	18	—	54	54	0	1	1	19	92	1	8	112
11	9	0	9	—	6	6	—	0	0	13	28	1	13	57
9	87	2	89	—	147	147	—	6	6	16	258	2	24	313
9	100	3	103	—	447	447	9	25	34	14	598	3	75	736
18	48	6	54	2	139	141	—	25	25	7	227	2	41	308
101	672	15	687	3	1,957	1,960	15	155	170	108	1,925	49	434	3,726

2. 自然的土地条件

2-1. 市町村別傾斜区分別面積市町村別内訳

(单位 Km²)

傾斜区分 市町村	S ₁ 0° 3°	S ₂ 3° 8°	S ₃ 8° 15°	S ₄ 15° 20°	S ₅ 20° 30°	S ₆ 30° 40°	S ₇ 40° 以上	未 区 分	計
函 館 市	98	38	17	53	102	40	0	0	348
松 前 町	13	24	14	23	89	105	28	0	296
福 島 町	12	0	2	30	85	58	1	0	188
知 内 町	37	3	23	38	68	29	0	0	198
木古内町	18	5	7	56	107	30	0	0	223
上 磯 町	36	12	12	31	94	78	0	0	263
大 野 町	33	4	11	18	51	21	0	0	138
七 飯 町	50	36	36	27	53	2	0	9	213
戸 井 町	3	0	2	17	24	7	0	0	53
尻岸内町	5	4	7	2	44	32	2	0	96
般法華村	2	3	4	5	6	5	0	0	25
南茅部町	3	15	13	0	100	28	0	0	159
鹿 部 村	10	38	16	3	35	10	0	0	112
砂 原 町	19	20	9	4	2	3	0	0	57
森 町	62	53	26	26	56	77	13	0	313
八 雲 町	131	53	94	162	196	100	0	0	736
長万部町	68	19	50	48	91	32	0	0	308
渡島圏計	606	327	343	543	1,203	657	44	9	3,726
桧山地域									
江 差 町	15	4	30	37	17	4	3	0	110
上ノ国町	21	9	11	72	178	227	29	0	547
厚沢部町	58	7	57	72	163	108	0	0	465
乙 部 町	18	6	49	40	37	15	0	0	165
熊 石 町	6	6	13	22	56	117	0	0	220
大 成 町	3	7	11	23	43	40	7	0	134
奥 尻 町	20	32	38	6	32	15	0	0	143
瀬 棚 町	4	12	12	21	5	59	13	0	126
北 桧 山 町	88	3	26	123	60	61	13	1	375
今 金 町	82	26	30	79	249	74	29	1	570
桧山圏計	315	112	277	495	840	720	94	2	2,855
渡島・桧山 地 域 計	915	439	620	1,038	2,043	1,377	138	11	6,581

2-2. 市町村別標高区分別面積市町村別内訳

(単位 Km²)

市町村	0m	100m	200m	400m	600m	800m	1,000m	1,500m	未区分	計
	100m	200m	400m	600m	800m	1,000m	1,500m以上			
函館市	113	68	101	42	19	3	2	0	0	348
松前町	56	46	93	76	19	5	1	0	0	296
福島町	35	48	56	29	18	1	1	0	0	188
知内町	68	59	45	19	7	0	0	0	0	198
木古内町	74	79	56	12	2	0	0	0	0	223
上磯町	72	49	95	43	4	0	0	0	0	263
大野町	39	14	27	39	19	0	0	0	0	138
七飯町	26	53	58	34	17	11	5	0	9	213
戸井町	14	16	23	0	0	0	0	0	0	53
尻岸内町	30	26	33	6	1	0	0	0	0	96
蝦法華村	8	8	7	2	0	0	0	0	0	25
南茅部町	29	28	59	26	14	2	1	0	0	159
鹿部村	30	28	24	15	10	4	1	0	0	112
砂原町	23	13	11	5	2	2	1	0	0	57
森町	39	87	104	55	26	2	0	0	0	313
八雲町	150	161	266	107	41	10	1	0	0	736
長万部町	117	94	82	12	2	1	0	0	0	308
渡島圏計	923	877	1,140	522	201	41	13	0	9	3,726
桧山地域										
江差町	62	23	23	2	0	0	0	0	0	110
上ノ国町	66	104	207	133	35	2	0	0	0	547
厚沢部町	107	120	150	62	22	3	1	0	0	465
乙部町	50	34	41	27	11	2	0	0	0	165
熊石町	25	26	58	55	32	18	6	0	0	220
大成町	22	25	44	28	11	4	2	0	0	136
奥尻町	35	36	61	11	0	0	0	0	0	143
瀬棚町	25	24	23	25	16	7	6	0	0	126
北桧山町	108	103	76	45	28	9	5	0	1	375
今金町	132	131	168	81	38	16	2	0	1	569
桧山圏計	632	626	851	469	193	61	22	0	2	2,856
渡島・桧山地域計	1,555	1,503	1,991	991	394	102	35	0	11	6,582

2-3. 市町村別地形区分別面積内訳

市町村	山 地 ・ 火 山 地					丘 陵 地		
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計
函 館 市		75	160		235			0
松 前 町	7	219	34		260			0
福 島 町	7	100	73		180			0
知 内 町		60	53	60	173			0
木 古 内 町		1	147	45	193			0
上 磯 町		34	184	5	223			0
大 野 町		58	38	5	101			0
七 飯 町		78	47	37	162			0
戸 井 町			49		49			0
尻 岸 内 町	1	16	58	12	87			0
椴 法 華 村	1	15	4	3	23			0
南 茅 部 町		75	77		152			0
鹿 部 村		31	23	36	90			0
砂 原 町	1	17		15	33			0
森 町		126	98	23	247			0
八 雲 町	9	212	212	199	632			0
長 万 部 町		9	203	32	244			0
渡 島 圏 計	26	1,126	1,460	472	3,084			0
江 差 町			21	32	53			0
上ノ国町	5	175	327	18	525			0
厚 沢 部 町	11	105	193	108	417			0
乙 部 町	13	60	41	14	128	9		9
能 石 町	62	147			209			0
大 成 町	19	63	38		120			0
奥 尻 町			26		26			0
瀬 棚 町	62	11	8		81			0
北 桧 山 町	18	98	83		199	21		21
今 金 町		147	168	56	371			0
桧 山 圏 計	190	806	905	228	2,129	30		30
渡 島 ・ 桧 山 地 域 計	216	1,932	2,365	700	5,213	30		30

(单位 Km)

台地・段丘				低地				未区分	合計
砂礫	ローム	岩石	計	扇状地性	三角州性	自然堤防州砂	計		
82			82	9	5	17	31		348
34			34	2			2		296
3			3	5			5		188
4			4	4	17		21		198
13			13	13	4		17		223
14			14	8	12	6	26		263
			0	13	24		37		138
28			28	1	1.3		14	9	213
4			4				0		53
			0	9			9		96
			0	2			2		25
6			6	1			1		159
22			22				0		112
19			19			5	5		57
58			58	6		2	8		313
38			38	41	21	4	66		736
9			9	18	19	18	55		308
334			334	132	115	52	299	9	3,726
25		19	44	7	3	3	13		110
6			6	14	2		16		547
26		1	27	21			21		465
21		1	22	6			6		165
6			6	5			5		220
11			11	3			3		134
60		57	117				0		143
42			42			3	3		126
124			124	28		2	30	1	375
161			161	37			37	1	570
482		78	560	121	5	8	134	2	2,855
816		78	894	253	120	60	433	11	6,581

2-4. 市町村別表層地質分布面積内訳 (1)

市町村名	未 固 結 堆 積 物								計
	1. 粘礫 ・ 土砂	2. 砂	3. 粘 シ ルト 土	4. 泥 炭	5. 礫	6. 碎 屑 物	7. 礫 ・ 砂	8. 粘砂 ・ 土礫	
函 館 市	36.19	1.04		3.34	7.31		37.23		85.11
松 前 町	2.66						30.85		33.51
福 島 町	8.19								8.19
知 内 町	23.52						1.97	3.97	29.46
木 古 内 町	12.26						4.18	1.47	17.91
上 磯 町	21.30	1.55		1.05	6.84		7.63	5.52	43.89
大 野 町	23.74			6.00	4.55			19.73	54.02
七 飯 町	15.50			0.82	12.04	9.79	4.49		42.64
戸 井 町							1.84		1.84
尻 岸 内 町	4.03					4.61		2.69	11.33
殿 法 華 村						4.57			4.57
南 茅 部 町							3.66	6.20	9.86
鹿 部 村		1.79				1.27	4.93	12.66	20.65
砂 原 町		3.53							3.53
森 町	7.20	4.38							11.58
八 雲 町	42.69	7.96		4.65	18.40		27.97		101.67
長 万 部 町	28.64	16.63		12.94			1.95	24.64	84.80
計	225.92	36.88		28.80	49.14	20.24	126.70	76.88	564.56
江 差 町	9.90	2.92		3.85			4.62		21.29
上ノ国町	27.90	0.77					4.92		33.59
厚 沢 部 町	26.04						31.62		57.66
乙 部 町	7.26						16.50		23.76
熊 石 町	6.91						7.68		14.59
大 成 町	2.45						6.14		8.59
奥 尻 町	0.84						15.67		16.51
瀬 棚 町	1.79	1.88					16.83	2.09	22.59
北 桧 山 町	48.21	3.63		1.67			53.33	0.49	107.33
今 金 町	44.86			6.54			79.32		130.72
計	176.16	9.20		12.06			236.63	2.58	436.63
合 計	402.08	46.08		40.86	49.14	20.24	363.33	79.46	1,001.19

(单位 Km³)

半 固 結 ~ 固 結 堆 積 物										
9. 礫 岩	10. 砂 岩	11. 泥 岩	12. 砂岩 岩互 泥層	13. 礫砂 岩岩	14. 泥 岩	15. 粘 板 岩	16. 砂岩 岩互 泥層	17. 岩珪 岩 石質	18. 石 灰 岩	計
		82.38				41.76				124.14
2.81		3.74				145.58				152.13
7.03	1.18	58.92	6.33			24.45				97.91
	1.13	107.79	11.96			1.58				122.46
		184.18	0.78			9.75				194.71
14.53		94.76	41.15			49.83			5.34	205.61
		24.78	2.90			4.83				32.51
		14.89				26.70				41.59
		14.88				20.45				35.33
		1.10								1.10
		13.99								13.99
		19.41								19.41
3.68	125.86	157.50	14.72			7.36				309.12
	19.71	42.50				6.47				68.68
28.05	147.88	820.82	77.84			338.76			5.34	1,418.69
		20.24	10.67			40.59				71.50
		108.85				146.60				255.45
	0.79	123.36	72.54			90.21				286.90
4.13	1.73	31.19	34.65			15.18				86.88
10.76	6.67	29.46	0.87			7.57				55.33
0.96	10.31	1.23	4.42			18.65				35.57
	12.93	3.49	4.72							21.14
		0.81	0.91							1.72
1.21	18.40	8.57	49.52			5.72				83.42
	87.43	54.45	36.59			37.67				216.14
17.06	138.26	281.65	214.89			362.19				1,114.05
45.11	286.14	1,202.47	292.73			700.95			5.34	2,532.74

2-4. 市町村別表層地質分布面積内訳 (2)

市町村名	火山性岩石										
	19. 火山 灰	20. 口 △	21. 軽堆 石積 流物	22. 火砕 屑 山物	23. 凝質 灰岩 石	24. 火岩 山質 角岩 礫石	25. 流質 紋岩 岩石	26. 安質 山岩 岩石	27. 玄質 武岩 岩石	28. 輝凝 綠灰 岩質 石	計
函 館 市					10.44	61.84	14.62	24.71	27.14		138.75
松 前 町					8.56	83.45		10.48			102.49
福 島 町					19.36	21.55		40.51			81.42
知 内 町						0.96		45.12			46.08
木 古 内 町					0.69	5.83		3.47	0.39		10.38
上 磯 町					1.84		6.75	3.89	1.02		13.50
大 野 町							27.09	2.35	19.46		48.90
七 飯 町				42.23		79.72		39.41			161.36
戸 井 町							5.98	3.28	0.31		9.57
尻 岸 内 町			1.53	3.74	0.77	1.34	23.23	15.94	1.06		47.61
蝦 法 華 村			1.14	1.12		0.92	2.35	13.80			19.33
南 茅 部 町				7.47	18.13	48.24	27.71	23.21	5.09		129.85
鹿 部 村				54.82		25.20		11.33			91.35
砂 原 町			2.47	46.15				4.85			53.47
森 町	5.01		3.22	113.34	41.94	92.65	3.04	22.81			282.01
八 雲 町				5.62	129.62	126.59	3.92	52.26	3.14		321.15
長 万 部 町					59.44	65.82	13.55	13.86			152.67
計	5.01		8.36	274.49	290.79	641.20	103.50	348.39	38.15		1,709.89
江 差 町					6.38	5.61	5.22				17.21
上ノ国町						215.72	8.21	15.32	0.49		239.74
厚 沢 部 町					19.99	93.47	3.72	3.26			120.44
乙 部 町					7.92	39.04		2.64	1.51		51.11
熊 石 町					12.30	79.13		7.17			98.60
大 成 町						23.08	7.61	24.05	13.75		68.49
奥 尻 町				7.71	14.93		4.23	41.18	6.46		74.51
瀬 棚 町					30.11	34.55		37.03			101.69
北 桧 山 町					39.12	77.35	0.32	8.57	1.36		126.72
今 金 町					77.16	40.57	3.98	16.05			137.76
計				7.71	207.91	608.52	33.29	155.27	23.57		1,036.27
合 計	5.01		8.36	282.20	498.70	1,249.72	136.79	503.66	61.72		2,746.16

(単位 Km)

深 成 岩 類					変 成 岩 類				そ の 他 (湖・沼 河川等)	合 計	備 考
29. 斑 岩	30. 花岩 崗 岩 質石	31. は ん れ い 質 岩 石	32. 蛇質 紋岩 岩石	計	33. ホ フ ェ ル ン ス	34. 結 質 晶 片 岩 石	35. 片 質 麻 岩 石	計			
	7.87			7.87						348	市街地 23
	0.48			0.48						296	
										188	
										198	
										223	
										263	
2.57				2.57						138	
									湖・沼 9	213	大沼 5.33 小沼 3.81
										53	
1.73				1.73						96	境界未定
										25	境界未定
5.30				5.30						159	
										112	
										57	
										313	
2.44	1.62			4.06						736	
	1.85			1.85						308	
12.04	11.82			23.86					9	3,726	
										110	
	18.22			18.22						547	
										465	
3.25				3.25						165	
7.68	43.80			51.48						220	
0.98	20.37			21.35						134	
	30.84			30.84						143	
										126	
16.87	39.66			56.53					河川 1	375	利別川
1.05	83.33			84.38					河川 1	570	利別川
29.83	236.22			266.05					2	2,855	
41.87	248.04			289.91					11	6,581	

市町村名	総 面 積 Km ²	未 固 結 堆 積 物								合 計
		1. 粘 礫 ・ 土 砂	2. 砂	3. 粘 (シルト) 土	4. 泥 炭	5. 礫	6. 碎 屑 物	7. 礫 ・ 砂	8. 粘 砂 ・ 土 礫	
江 差 町	110	0.24	0.33					0.48		1.05
上ノ国町	547	13.43	0.18					5.21		18.82
厚沢部町	465	5.69			0.63			7.03		13.35
乙 部 町	165	3.70						5.21		8.91
熊 石 町	220	5.13						4.33		9.46
大 成 町	134	1.35						2.83		4.18
奥 尻 町	143	2.31						11.31		13.62
瀬 棚 町	126	5.33	1.08					15.78	6.14	28.33
北 桧 山 町	375	18.86	4.56		8.14			5.87		37.43
今 金 町	570	9.78			7.11			12.94		29.83
桧山地域計	2,855	65.82	6.15		15.88			70.99	6.14	164.98
渡島・桧山 地 域 計	6,581	222.11	32.82		45.37	38.51	11.45	158.28	62.95	571.49

(単位 Km²)

半 固 結 ~ 固 結 堆 積 物										
9. 礫 石	10. 砂 岩	11. 泥 岩	12. 砂岩 岩互 泥層	13. 礫砂 岩岩	14. 泥 岩	15. 粘 板 岩	16. 砂岩 岩互 泥層	17. 珪岩 岩 質石	18. 石 灰 岩	合 計
		24.30				71.82				96.12
		241.92				90.55				332.47
		170.89	153.12			81.43				405.44
10.18		32.86	53.76			29.21				126.01
23.33		39.85				15.28				78.46
	49.50	6.34								55.84
	31.24	23.81	18.22							73.27
		4.37	16.88							21.25
	72.44	10.92	90.94			8.86				183.16
	127.97	93.19	23.31			89.25				333.72
33.51	281.15	648.45	356.23			386.4				1,705.74
72.94	426.6	1,751.33	562.88			569.08			9.58	3,392.41

市町村名	火 山 性 岩 石										
	19. 火 山 灰	20. 口 I △	21. 堆 軽 積 石 物 流	22. 碎 火 屑 物 山	23. 質 凝 岩 灰 石 岩	24. 岩 火 質 山 角 石 礫	25. 質 流 岩 紋 石 岩	26. 質 安 岩 山 石 岩	27. 質 玄 岩 武 石 岩	28. 凝 輝 緑 灰 岩 質	合 計
江 差 町					5.58	4.11	3.14				12.83
上ノ国町						145.82	24.58	11.52	1.32		183.24
厚沢部町					8.77	31.46		5.98			46.21
乙 部 町						27.35		2.73			30.08
熊 石 町						74.91		18.94			93.85
大 成 町						17.64	6.58	7.33	9.52		41.07
奥 尻 町				5.57	5.14		2.77	11.41	3.08		27.97
瀬 棚 町					18.53	27.11		30.78			76.42
北 桧 北 町					63.72	48.34		21.64			133.70
今 金 町					50.17	33.59		37.17			120.93
桧山地域計				5.57	151.91	410.33	37.07	147.50	13.92		766.30
渡島・桧山 地 域 計		9.23	3.82	183.40	519.31	987.66	121.69	442.59	122.55		2,390.25

(単位 Km²)

深 成 岩 類					変 成 岩 類				そ の 他 (湖・沼 河川等)	合 計 Km ²
29. 斑 岩	30. 岩花 崗 岩 石質	31. 質は んれ い 石岩	32. 質蛇 岩紋 石岩	合 計	33. フホ ェル スン	34. 質結 晶片 石岩	35. 質片 岩麻 石岩	合 計		
	12.47			12.47						110
										547
										465
										165
9.28	28.95			38.23						220
	32.91			32.91						134
	28.14			28.14						143
										126
19.71				19.71					利別川 1Km ²	375
	84.52			84.52					利別川 1Km ²	570
28.99	186.99			215.98					2.00	2,855.00
42.63	215.18			257.81					34.00	6,581.00

2 - 5 市 町 村 別 土 壤

土 壤 群	岩 石 地 ・ 岩 屑 土			未 熟 土						
	高 山 性 岩 石 地 岩 屑 土 壤	岩 石 地 岩 屑 土 壤	計	残 積 性 未 熟 土 壤	砂 丘 未 熟 土 壤	湿 性 砂 丘 未 熟 土 壤	火 山 抛 出 物 未 熟 土 壤	粗 粒 火 山 抛 出 物 未 熟 土 壤	湿 性 粗 粒 火 山 抛 出 物 未 熟 土 壤	計
函 館 市	0	4.80	4.80	0	3.84	0	0	0	0	3.84
長 万 部 町	0	0	0	0	21.29	0	0	0	0	21.29
南 茅 部 町	0	12.40	12.40	0	0	0	0	42.17	0	42.17
八 雲 町	0	0	0	0	6.14	0	15.30	30.43	11.89	63.76
鹿 部 村	3.55	15.80	19.35	0	0	0	0	76.62	0	76.62
森 町	0	3.80	3.80	0	0	0	14.16	175.66	15.53	205.35
砂 原 町	6.36	0.60	6.96	0	0.75	0.63	0.72	38.22	0	40.32
大 野 町	0	0	0	0	0.11	0	0	8.25	0	8.36
戸 井 町	0	2.00	2.00	0	0	0	0	0	0	0
上 磯 町	0	3.60	3.60	0	4.29	0	0	0	0	4.29
知 内 町	0	0.80	0.80	0	1.40	0	0	0	0	1.40
七 飯 町	0	0	0	0	0	0	0.26	86.90	1.40	88.56
木 古 内 町	0	0	0	0	4.20	0	0	0	0	4.20
福 島 町	0	6.80	6.80	0	0	0	0	0	0	0
鍛 法 華 村	0.71	1.20	1.91	0	0.23	0	1.42	0	0	1.65
尻 岸 内 町	0	1.60	1.60	0	1.60	0	0	0	0	1.60
松 前 町	0	19.15	19.15	0	0	0	6.93	0	0	6.93
渡 島 地 域 計	10.62	72.55	83.17	0	43.85	0.63	38.79	458.25	28.82	570.34
今 金 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北 桧 山 町	0	3.16	3.16	1.03	1.60	0	0	0	0	2.63
瀬 棚 町	0	17.85	17.85	0	2.33	0	0	0	0	2.33
熊 石 町	0	2.70	2.70	0.02	1.28	0	0	0	0	1.30
大 成 町	0	6.00	6.00	0	0.47	0	0	0	0	0.47
乙 部 町	0	7.20	7.20	0	1.07	0	0	0	0	1.07
江 差 町	0	0	0	0	8.67	0	0	0	0	8.67
厚 沢 部 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上 ノ 国 町	0	1.60	1.60	0.75	4.35	0	0	0	0	5.10
奥 尻 町	0	3.15	3.15	0.57	0.76	0	0	0	0	1.33
桧 山 地 域 計	0	41.66	41.66	2.37	20.53	0	0	0	0	22.90
渡 島 ・ 桧 山 地 域 計	10.62	114.21	124.83	2.37	64.38	0.63	38.79	458.25	28.82	593.24

統 群 分 布 面 積 内 訳 (1)

(単位 km²)

果層くろぼく土壌	くろぼく土										褐色森林土壌 I
	湿性果層くろぼく土壌	aくろぼく土	bローム質くろぼく土	湿性くろぼく土	bローム質くろぼく土	未熟くろぼく土	湿性くろぼく土	aくろぼく土	bローム質くろぼく土	計	
81.45	4.95	64.59	0	0	2.62	0	0.35	0	0	153.96	4.49
15.14	0.73	0	26.54	0.59	0	0	0	13.41	0	56.41	0
0	0	0	0	0	0	15.29	0	0	0	15.29	3.67
1.16	0	0	27.21	0	0	14.466	3.37	0	0	17.640	4.00
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	27.21	0	0	0	27.21	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10.27	0	0	0	0	0	46.10	0	0	0	56.37	2.04
25.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25.00	0
48.53	0.79	0	0	0	0	1.30	0	0	0	50.62	8.55
45.10	0	0	8.03	0	0	0	0	0	0	53.13	11.97
14.55	3.57	32.03	0	0	0	3.22	0	0	0	53.37	0
18.07	1.00	0	0	0	0	0	0	0	0	19.07	2.89
26.83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26.83	21.18
0	0	0	0	0	0	10.04	0.26	0	0	10.30	0.20
13.13	0	0	0	0	0	3.58	0.70	0	0	17.41	2.75
60.66	0	0	0	0	0	2.93	0	0	0	63.59	28.98
359.89	11.04	96.62	61.78	0.59	2.62	254.33	4.68	13.41	0	804.96	90.72
0	0	8.75	0	0	0	59.94	3.61	42.69	0	114.99	0
0	0	0	0	0	0	55.98	32.80	0	0	88.78	0
0	0	0	0	0	0	14.17	2.67	0	0	16.84	0
0.34	0	0	0	0	0	1.03	0	0	0	1.37	2.37
0	0	0	0	0	0	1.02	0	0	0	1.02	0
0	4.88	59.51	0.75	1.62	0	0	0	0	0	66.76	2.32
0	0.97	47.51	0	0	0	0	0	0	0	48.48	0
0	0	26.85	0	3.23	0	10.280	5.07	0	0	137.95	4.42
22.77	4.60	53.80	0	0	0	0	0	0	0	81.17	38.16
0	0	0	0	0	0	9.75	7.68	0	0	17.43	0
23.11	10.45	196.42	0.75	4.85	0	244.69	51.83	42.69	0	574.79	47.27
383.00	21.49	293.04	62.53	5.44	2.62	499.02	56.51	56.10	0	1379.75	137.99

2 - 5 市町村別土壌

土壌群 市町村	褐色森林土								ポ	
	褐色森林土Ⅱ	褐色森林土Ⅲ	褐色森林土Ⅳ	褐色森林土Ⅰ 抛出物未熟土 粗粒火山土	褐色森林土Ⅰ くろぼく土	褐色森林土Ⅰ ポドゾル化土	暗色系褐色森林土 ポドゾル土	計	ポドゾル化土Ⅰ	ポドゾル化土Ⅱ
函館市	117.82	6.99	0	0	3.99	0	4.89	138.18	0	0
長万部町	75.34	28.49	0	0	61.09	7.66	9.91	182.49	0	0
南茅部町	71.33	9.11	0	0	0	0	4.04	88.15	0	0
八雲町	237.53	0	0	30.32	124.54	28.97	19.30	444.66	0	0
鹿部村	9.67	0	0	0	0	0	4.73	14.40	0	0
森町	0	0	0	11.63	0	33.23	14.16	59.02	0	0
砂原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大野町	10.99	0	0	15.58	0	10.29	4.48	43.38	0	0
戸井町	25.70	0	0	0	0	0	0	25.70	0	0
上磯町	78.44	20.94	0	2.76	77.03	0	0	187.72	0	0
知内町	78.33	0	0	0	24.00	0	0	114.30	0	0
七飯町	18.40	0	0	0	0	0	14.34	32.74	0	0
木古内町	124.56	17.66	0	0	40.17	0	0	185.28	0	0
福島町	124.95	1.57	0	0	0	0	0	147.70	0	0
鍛法華村	2.76	0	0	0	7.82	0	0	10.78	0	0
尻岸内町	59.21	6.47	0	0	4.68	0	0	73.11	0	0
松前町	172.58	3.16	0	0	0	0	0	204.72	0	0
渡島地域計	1207.61	94.39	0	60.29	343.32	80.15	75.85	1952.33	0	0
今金町	196.21	57.74	14.93	0	54.52	39.07	45.64	408.11	0	0
北桧山町	114.39	0	1.16	0	82.41	21.40	14.08	233.44	0	0
瀬棚町	31.01	0	1.37	0	10.94	2.452	12.81	80.65	0	0
熊石町	166.78	0	1.07	0	0	17.68	15.08	202.98	0	0
大成町	113.16	0	0.94	0	0	10.45	0	124.55	0	0
乙部町	53.81	10.43	0	0	0	3.48	5.26	75.30	0	0
江差町	28.43	1.61	0.46	0	0	7.03	0	37.53	0	0
厚沢部町	189.03	3.89	0	0	41.48	16.11	20.80	275.73	0	0
上ノ国町	340.20	23.67	1.48	0	17.19	8.37	0	429.07	0	0
奥尻町	110.86	0	7.04	0	0	0	0	117.90	0	0
桧山地域計	1343.88	97.34	28.45	0	206.54	148.11	113.67	1985.26	0	0
渡島・桧山地域計	2551.49	191.73	28.45	60.29	549.86	228.26	189.52	3937.59	0	0

統 群 分 布 面 積 内 訳 (2)

(単位 km²)

ドゾル		赤黄色土		暗赤色土		褐色低地土			灰色低地土			
高山性岩屑土壌	計	赤黄色土壌	計	暗赤色土壌	計	褐色低地土壌	粗粒褐色低地土壌	計	粗粒灰色低地土壌	灰色低地土壌	粗粒灰色低地土壌	計
1.57	1.57	0	0	0	0	2.36	3.54	5.90	3.71	0.54	0.59	4.84
0	0	0	0	0	0	6.33	9.78	16.11	9.20	6.11	0	15.31
0.66	0.66	0	0	0	0	0.33	0	0.33	0	0	0	0
19.43	19.43	0	0	0	0	13.52	3.13	16.65	1.80	5.92	0	7.72
0.49	0.49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.14	1.14
1.68	1.68	0	0	0	0	0	6.95	6.95	0	0.58	4.11	4.69
0	0	0	0	0	0	0	9.72	9.72	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	5.66	4.36	10.02	4.95	0	0	4.95
0	0	0	0	0	0	0	0.30	0.30	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	3.50	0.59	4.09	3.04	2.26	0	5.30
0	0	0	0	0	0	8.71	1.57	10.28	4.54	0	0	4.54
4.16	4.16	0	0	0	0	0	0	0	0	7.92	11.70	19.62
0	0	0	0	0	0	8.97	0.29	9.26	5.00	0	0	5.00
0	0	0	0	0	0	4.77	0.49	5.26	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0.36	0	0.36	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	1.05	0.88	1.93	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0.49	1.12	1.61	0	0	0	0
27.99	27.99	0	0	0	0	56.05	42.72	98.77	32.24	23.33	17.54	73.11
0	0	0	0	0	0	6.44	10.36	16.80	6.47	5.42	2.25	14.14
3.86	3.86	0	0	0	0	1.09	11.40	12.49	0.88	10.25	0.72	11.85
6.05	6.05	0	0	0	0	0	1.27	1.27	0	0.68	0.33	1.01
9.18	9.18	0	0	0	0	1.07	0.88	1.95	0	0	0.52	0.52
0.98	0.98	0	0	0	0	0.67	0.31	0.98	0	0	0	0
3.39	3.39	0	0	0	0	0	7.13	7.13	0.30	0.59	2.85	3.74
0	0	0	0	0	0	0.89	3.30	4.19	0	6.32	1.92	8.24
4.99	4.99	0	0	0	0	4.53	14.67	19.20	3.09	16.93	3.75	23.77
0.60	0.60	0	0	0	0	4.43	6.05	10.48	5.26	11.23	0	16.49
0	0	0	0	0	0	0	1.13	1.13	0	0.89	1.17	2.06
29.05	29.05	0	0	0	0	19.12	56.50	75.62	16.00	52.31	13.51	81.82
57.04	57.04	0	0	0	0	75.17	99.22	174.39	48.24	75.64	31.05	154.93

2 - 5 市 町 村 別 土 壤

土 壤 群	灰 色 台 地		グ ラ イ 土				グ ラ イ 台 地 土		泥	
	灰 色 台 地 土 壤	計	細 粒 グ ラ イ 土 壤	グ ラ イ 土 壤	粗 粒 グ ラ イ 土 壤	計	グ ラ イ 台 地 土 壤	計	高 位 泥 炭 土 壤	中 間 泥 炭 土 壤
市 町 村										
函 館 市	7.14	7.14	0	0.67	0	0.67	0	0	0	0.44
長 万 部 町	0	0	0.42	0	0	0.42	0	0	3.99	0.60
南 茅 部 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八 雲 町	0	0	0	1.05	0	1.05	0	0	0	2.32
鹿 部 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
森 町	0	0	0	0.74	2.98	3.72	0	0	0	0
砂 原 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大 野 町	0	0	0	8.38	0	8.38	0	0	0	0
戸 井 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上 磯 町	0	0	4.50	0.24	0.62	5.36	0	0	0	0
知 内 町	0.98	0.98	3.49	0.65	0	4.14	0	0	0	0.30
七 飯 町	0	0	0	0	5.55	5.55	0	0	0	0
木 古 内 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福 島 町	0	0	0	0.13	0	0.13	0	0	0	0
鍛 法 華 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尻 岸 内 町	0	0	0.35	0	0	0.35	0	0	0	0
松 前 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渡 島 地 域 計	8.12	8.12	8.76	11.86	9.15	29.77	0	0	3.99	3.66
今 金 町	0	0	0	0	2.39	2.39	0	0	0	0
北 桧 山 町	8.32	8.32	0	0	4.59	4.59	0	0	0	0
瀬 棚 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊 石 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大 成 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乙 部 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
江 差 町	0	0	0	0.08	0	0.08	0	0	0	0
厚 沢 部 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上 ノ 国 町	0	0	0.11	0	0	0.11	0	0	0	0
奥 尻 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桧 山 地 域 計	8.32	8.32	0.11	0.08	6.98	7.17	0	0	0	0
渡 島 ・ 桧 山 地 域 計	16.44	16.44	8.87	11.94	16.13	36.94	0	0	3.99	3.66

統 群 分 布 面 積 内 訳 (3)

(単位 ㎡)

炭 土				未 区 分 地			合 計
低 位 泥 炭 土 壤	計	氾 濫 原 砂 礫 地	計	市 街 地	河 川 ・ 湖 沼	計	
3.66	4.10	0	0	23.00	0	23.00	348.00
11.38	15.97	0	0	0	0	0	308.00
0	0	0	0	0	0	0	159.00
4.01	6.33	0	0	0	0	0	736.00
0	0	0	0	0	0	0	112.00
0.58	0.58	0	0	0	0	0	313.00
0	0	0	0	0	0	0	57.00
6.54	6.54	0	0	0	0	0	138.00
0	0	0	0	0	0	0	53.00
2.02	2.02	0	0	0	0	0	263.00
4.59	4.89	3.54	3.54	0	0	0	198.00
0	0	0	0	0	9.00	9.00	213.00
0.19	0.19	0	0	0	0	0	223.00
0.20	0.20	1.08	1.08	0	0	0	188.00
0	0	0	0	0	0	0	25.00
0	0	0	0	0	0	0	96.00
0	0	0	0	0	0	0	296.00
33.17	40.82	4.62	4.62	23.00	9.00	32.00	3726.00
6.09	6.09	6.48	6.48	0	1.00	1.00	570.00
1.16	1.16	3.72	3.72	0	1.00	1.00	375.00
0	0	0	0	0	0	0	126.00
0	0	0	0	0	0	0	220.00
0	0	0	0	0	0	0	134.00
0.13	0.13	0.28	0.28	0	0	0	165.00
2.45	2.45	0.36	0.36	0	0	0	110.00
0	0	3.36	3.36	0	0	0	465.00
0	0	2.38	2.38	0	0	0	547.00
0	0	0	0	0	0	0	143.00
9.83	9.83	16.58	16.58	0	2.00	2.00	2855.00
43.00	50.65	21.20	21.20	23.00	11.00	34.00	6581.00

3. 土地利用可能性分級

3-1 市町村別土地利用
渡島・檜山

土地利用可能性分級 市町村	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
函 館 市	0. 66	10. 48	79. 07	182. 33
松 前 町	—	0. 85	32. 36	100. 72
福 島 町	—	2. 07	5. 68	113. 68
知 内 町	—	13. 12	39. 86	108. 24
木 古 内 町	—	10. 44	15. 15	161. 88
上 磯 町	—	10. 66	36. 89	109. 69
大 野 町	—	8. 05	33. 02	54. 79
七 飯 町	—	25. 64	30. 87	49. 92
戸 井 町	—	—	4. 03	34. 13
尻 岸 内 町	0. 74	2. 99	7. 06	44. 54
鍛 法 華 村	—	0. 60	5. 99	11. 78
南 茅 部 町	—	2. 95	5. 31	93. 22
鹿 部 村	—	1. 97	—	36. 40
砂 原 町	—	0. 42	6. 12	13. 38
森 町	—	14. 15	27. 60	95. 40
八 雲 町	—	51. 39	167. 84	343. 69
長 万 部 町	—	34. 33	80. 94	149. 87
渡 島 地 域 計	1. 40	190. 11	577. 79	1703. 66
江 差 町	—	9. 86	35. 00	52. 64
上ノ国町	0. 93	15. 45	25. 15	229. 23
厚 沢 部 町	1. 17	20. 72	101. 02	215. 36
乙 部 町	—	6. 37	61. 96	71. 76
熊 石 町	4. 30	5. 14	11. 76	69. 38
大 成 町	—	5. 41	10. 55	56. 17
奥 尻 町	2. 42	19. 51	53. 75	43. 28
瀬 棚 町	—	3. 28	19. 04	21. 48
北 檜 山 町	—	22. 90	64. 42	187. 25
今 金 町	—	28. 55	82. 86	318. 23
檜 山 地 域 計	8. 82	137. 19	465. 51	1264. 78
渡 島 ・ 檜 山 地 域 計	10. 22	327. 30	1043. 30	2968. 44

可能性分級別面積内訳
地域

(単位 ㎡)

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	合 計
46.18	4.75	1.53	23.00	348.00
112.78	3.17	44.49	1.63	296.00
55.62	2.15	6.61	2.19	188.00
27.77	6.23	1.89	0.89	198.00
31.55	0.62	1.56	1.80	223.00
94.64	—	4.17	6.95	263.00
35.67	4.00	—	2.47	138.00
9.51	78.75	6.73	11.58	213.00
10.84	—	4.00	—	53.00
35.02	1.37	4.28	—	96.00
3.55	—	2.47	0.61	25.00
20.81	30.23	6.48	—	159.00
7.46	56.99	5.84	3.34	112.00
—	24.72	8.45	3.91	57.00
46.82	106.15	16.09	6.79	313.00
110.44	25.60	33.07	3.97	736.00
30.94	6.54	0.81	4.57	308.00
679.60	351.27	148.47	73.70	3726.00
3.73	2.29	3.01	3.47	110.00
233.96	8.64	30.98	2.66	547.00
109.27	12.05	5.41	—	465.00
9.46	4.95	8.72	1.78	165.00
92.09	12.36	24.97	—	220.00
42.13	2.45	17.29	—	134.00
15.20	1.36	7.48	—	143.00
35.73	6.12	38.90	1.45	126.00
64.61	12.18	20.44	3.20	375.00
80.89	25.60	30.76	3.11	570.00
687.07	88.00	187.96	15.67	2855.00
1366.67	439.27	336.43	89.37	6581.00

3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連

3-2-1. 土地利用可能性分級と地形区分との関連

土地利用 可能性 分級 地形区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
山地・火山地	9.43	79.83	499.60	2,583.86
丘陵地	—	3.79	0.32	19.70
台地・段丘	—	88.09	413.92	337.91
低地	0.79	155.59	129.46	26.97
未区分地	—	—	—	—
合計	10.22	327.30	1,043.30	2,968.44

3-2-2. 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

土地利用 可能性 分級 傾斜区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
0°～ 3° (S ₁)	10.22	242.38	406.13	173.50
3°～ 8° (S ₂)	—	84.92	162.54	81.07
8°～15° (S ₃)	—	—	474.63	43.12
15°～30° (S ₄)	—	—	—	2,670.75
30°～40° (S ₅)	—	—	—	—
40° 以上 (S ₆)	—	—	—	—
未区分地	—	—	—	—
合計	10.22	327.30	1,043.30	2,968.44

(单位：Km²)

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	合 計	備 考
1,343.85	352.72	287.28	—	5,156.57	
2.44	—	—	—	262.5	
18.15	39.93	49.15	—	947.15	
2.23	46.62	—	—	361.66	
—	—	—	89.37	89.37	
1,366.67	439.27	336.43	89.37	6,581.00	

(单位：Km²)

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	合 計	備 考
—	59.16	13.17	—	904.56	
0.64	60.97	28.59	—	418.73	
10.82	68.95	15.92	—	613.44	
87.57	159.09	54.15	—	2,971.56	
1,267.64	91.10	84.05	—	1,442.79	
—	—	140.55	—	140.55	
—	—	—	89.37	89.37	
1,366.67	439.27	336.43	89.37	6,581.00	

3-2-3. 土地利用可能性分級と標高区分との関連

土地利用可能性分級 標高区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
低 暖 地 帯 (H ₁)	10.22	322.60	1,006.80	2,492.12
山 間 地 帯 (H ₂)	—	4.70	36.50	476.32
高 冷 地 帯 (H ₃)	—	—	—	—
生産限界地帯 (H ₄)	—	—	—	—
未 区 分 地	—	—	—	—
合 計	10.22	327.30	1,043.30	2,968.44

3-2-4. 土地利用可能性分級と土壤生産力可能性との関連
渡 島 ・ 檜 山 地 域

土地生産力可能性分級 土壤生産力可能性格納区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
はなはだよい (P ₁)	10.22	30.92	127.18	1,362.21
ややよい (P ₂)	—	296.38	171.18	894.12
やや劣る (P ₃)	—	—	744.94	462.35
劣 る (P ₄)	—	—	—	249.76
はなはだ劣る (P ₅)	—	—	—	—
(P ₀)	—	—	—	—
未 区 分 地	—	—	—	—
合 計	10.22	327.30	1,043.30	2,968.44

(単位：Km²)

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	合 計	備 考
697.32	319.91	159.43	—	5,008.40	
661.55	57.83	125.55	—	1,362.45	
7.80	61.53	30.60	—	99.93	
—	—	20.85	—	20.85	
—	—	—	89.37	89.37	
1,366.67	439.27	336.43	89.37	6,581.00	

(単位：Km²)

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	合 計	備 考
813.17	9.46	80.37	—	2,433.53	
174.08	—	9.71	—	1,545.47	
212.17	15.19	24.85	—	1,459.50	
167.25	36.88	16.40	—	470.29	
—	377.74	4.83	—	382.57	
—	—	200.27	—	200.27	
—	—	—	89.37	89.37	
1,366.67	439.27	336.43	89.37	6,581.00	

3-3. 土地利用可能性分級別主要地域の概要

地域名		1 類 地	2 類 地	3 類 地
		熊 石	八 雲	厚 沢 部
地 形	傾 斜	S ₁ ~S ₂ (0°~8°)	S ₁ ~S ₂ (0°~8°)	S ₁ ~S ₃ (0°~15°)
	谷 密 度	(7~12)	(6~14)	(9~14)
	標 高 (植 裁 限 界)	100m~400m	10m~300m	50m~400m
表 層 地 質	岩 石 の 種 類	泥岩、頁岩、砂岩泥 石互層、礫岩	砂、泥、砂礫、礫、 泥岩、砂岩泥岩互層、 凝灰岩質岩石	砂礫、砂岩泥岩互層、 火山角礫岩質岩石
	岩 石 の か た さ	軟 - 硬	軟 - 硬	軟 - 硬
	時 代	第 4 紀 - 白 亜 紀	第 4 紀 - 白 亜 紀	第 4 紀 - 白 亜 紀
土 壤	農 地 土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 分 級		褐色低地土壤(Ⅱ)、 未熟くろぼく土壤 (Ⅲ)	未熟くろぼく土壤、 くろぼく土壤(Ⅲ) 粗粒褐色低地土壤 (Ⅲ)
	林 地 土 壤 統 群 地 位 級	褐色森林土壤Ⅱ、(Ⅰ)	褐色森林土壤Ⅱ、 累層くろぼく土(Ⅰ)	褐色森林土壤Ⅱ、 累層くろぼく土 (Ⅰ~Ⅱ)
水 利 用	地 表 水	○	○	○
	地 下 水	○	○	○
	天 水			
気 候 区 分		日本海側南部	太平洋側噴火湾沿岸	日本海側南部
面 積	土地利用可能性類			
	地別支庁内合計(A)	10.22	327.30	1,043.30
	当該地域類地別 面積(B)	4.30	51.39	101.02
	% (B / A)	42.1	15.7	9.7

4 類 地	5 類 地	6 類 地	7 類 地
八 雲	上 ノ 国	森	瀬 棚
S ₁ ~S ₄ (0°~30°) (1 2 ~ 1 4) 50 m ~ 800 m	S ₂ ~S ₄ (3°~30°) (5 ~ 1 4) 100 m ~ 800 m	S ₃ ~S ₅ (8°~40°) (1 0 ~ 1 5) 400 m ~ 1,000 m	S ₃ ~S ₅ (8°~40°) (1 3 ~ 1 7) 600 m ~ 1,500 m
砂、泥、砂礫、礫、泥岩、砂岩泥岩互層、凝灰岩質岩石 軟 — 硬 第 4 紀—白亜紀	泥岩、火山角礫岩質岩石、流紋岩質岩石、花崗岩質岩石 軟 — 硬 第 4 紀—白亜紀	泥岩、砂岩泥岩互層、火山角礫岩質岩石、安山質岩石 軟 — 硬 第 4 紀—白亜紀	火山角礫岩質岩石、安山岩質岩石 軟 — 硬 第 4 紀—白亜紀
粗粒火山抛出物未熟土壤、砂丘未熟土壤 (IV)			
褐色森林土壤 II、褐色森林土—くろぼく土壤 (I ~ II)	褐色森林土壤 II、くろぼく土壤 (II)	粗粒火山抛出物未熟土壤、褐色森林土—ポドゾル土壤 (III ~ IV)	暗色系褐色森林土—ポドゾル土壤、岩屑土—岩石地 (0 ~ III)
○ ○	○	○	○
太平洋側噴火湾沿岸	日本海側南岸	南 端 部	日本海側南部
2,968.44 343.69 11.6	1,366.67 233.96 17.1	439.27 106.15 24.2	336.43 38.90 11.6

3-4. 市町村別土地利用可能性分級別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況														備 考
			水 田		畑				草 地		林 地				空地・		
	面積 Km ²	土 地 利用 占有率	平均取 穫量率	土 地 利用 占有率	普 通 畑		樹 園 地		土 地 利用 占有率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利用 占有率		
					土 地 利用 占有率	主 要 作 物 および平均 取 穫 量 率	土 地 利用 占有率	主 要 樹 種 および平均 取 穫 量 率			土 地 利用 占有率	主 要 樹 種 および平均 取 穫 量 率	土 地 利用 占有率	主 要 樹 種 および平均 取 穫 量 率			
函 館 市	1 類地	111	1														国営大野地区総合かんがい排水事業 飛行場
	2 類地	112,121,122,221	10									B	広葉樹(フナ) 100				
	3 類地	113,123,131,132,133,231,232	79	D	水稻 95	D	アズベラ 110 トマト 105 きゅうり 105	(D)	りんご 100			D	カラマツ 80	D	広葉樹 90		
	4 類地	141,142,143,144,233,241,242,243	182								C	カラマツ 60	C	広葉樹 70			
	5 類地	151,152,153,251,252,253	46								D	カラマツ 50					
	6 類地	344,351,115	5										A	広葉樹 40			
	7 類地	150,440	2														
	8 類地		23														
市 町 村 計		348															
松 前 町	1 類地																道営松前地区草地開発事業
	2 類地	112,122	1	A	水稻 95												
	3 類地	113,123,131,132,133,231	32	C	水稻 90	C	小豆 95 イチゴ 105						C	広葉樹(フナ) 990			
	4 類地	141,142,143,241,243	101										A	広葉樹(フナ) 70			
	5 類地	151,152,153,154,244,251,253,254	113										A	広葉樹(フナ) 50			
	6 類地	353,245	3														
	7 類地	110,120,130,140,150,160,161,162,261,262,263,350,363,455	44											B	広葉樹(フナ) 10	C 原野(砂丘植生)	
	8 類地		2														
市 町 村 計		296															

市町村名	類地区区分 および包含される示性式	面積 Km ²	土地利用の現況												備考		
			水田		畑				草地		林地					空地・その他	
			土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	普通畑		樹園地		土地利用占有率	草地の種類および平均収穫量率	人工林		天然林		土地利用占有率	
						土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	主要樹種および平均収穫量率			土地利用占有率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用占有率			主要樹種および平均収穫量率
福島市	1 類地															青函トンネル建設工事	
	2 類地	112	2	A	水稲95												
	3 類地	113	6			C	小豆 90						B	広葉樹(ブナ) 90			
	4 類地	141,142,143,233,241,243	114			D	小豆 85				D	トドマン 60	C	広葉樹(ブナ) 70			
	5 類地	151,152,251,252,253	56										A	広葉樹(ブナ) 50 針葉樹 40			
	6 類地	353,115	2														
	7 類地	140,150,263,350,455	6														
	8 類地		2														
市町村計		188															
知内町	1 類地															道管第三元町地区総合農地開発事業	
	2 類地	112	13	C	水稲95	D	アズベラ 105 小豆 95 大豆 95						C	広葉樹(ブナ) 90			
	3 類地	113,123,131,132,133	40	D	水稲90						D	トドマン 90					
	4 類地	114,141,142,143,233,241,242,243	108								D	トドマン 70 カラマン 60	B	広葉樹(ブナ) 50			
	5 類地	151,251,253	28	D	水稲90								A	広葉樹(ブナ) 40			
	6 類地	115,145	6	A	水稲90												
	7 類地	140,150	2														
	8 類地		1														
市町村計		198															

市 町 村 名	類地区分 および包含される示性式		土 地 利 用 の 現 況														備 考
			水 田		畑				草 地		林 地				空地・その他		
					普通畑		樹園地		土 地 利用 占有率	草地の種類 および平均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林				
					土 地 利用 占有率	平均収 穫 量 率	土 地 利用 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率			土 地 利用 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土 地 利用 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率			
1 類地																	
2 類地	112	10	D	水稲95	C	小豆 90 大豆 90			D	牧草 100 (人工草地)							
3 類地	113,123,132, 133	15	(D)		C	小豆 85 大豆 85					C	スギ 90 ヒノキ 70					
4 類地	141,142,143, 241	162		水稲90							D	トドマツ 70 カラマツ 60	B	広葉樹(ブナ) 70			
5 類地	151,152,153, 251,252,253	32									D	トドマツ 60 カラマツ 50	A	広葉樹(ブナ) 50			
6 類地	115	1							A	牧草 90 (人工草地)							
7 類地	110,120	1															
8 類地		2															
市 町・村 計		223															
1 類地																	
2 類地	112,122	11	C	水稲 100	C	馬鈴薯 100 小豆 95 きゅうり 110											
3 類地	113,123,132, 133	37	D	水稲95	D	トマト 110 イチゴ 105					C	アカエゾマツ 80		広葉樹(ブナ) 70			
4 類地	141,142,241, 242,243	110									D	カラマツ 60 トドマツ 70	A	広葉樹(ブナ) 50			
5 類地	151,152,153, 244,251,252, 253	94							(D)	牧草 90	D	トドマツ 60	A				
6 類地														広葉樹(ブナ) 10			
7 類地	120,161,162	4											A				
8 類地		7															
市 町・村 計		263															

国営大野地区総合かんがい排水事業

市町 村名	類地区分 類地区分および包含される示性式		土地利用の現況													備考
			水田		畑				草地		林地				空地・その他	
					普通畑		樹園地		土地 利用 占有率	草地の 種類 および平均 収獲量率	人工林		天然林			
					土地 利用 占有率	主要作物 および平均 収獲量率	土地 利用 占有率	主要樹種 および平均 収獲量率			土地 利用 占有率	主要樹種 および平均 収獲量率	土地 利用 占有率	主要樹種 および平均 収獲量率		
面積 Km ²	土地 利用 占有率	平均 収 獲 量 率	土地 利用 占有率	主要作物 および平均 収獲量率	土地 利用 占有率	主要樹種 および平均 収獲量率	土地 利用 占有率	草地の 種類 および平均 収獲量率	土地 利用 占有率	主要樹種 および平均 収獲量率	土地 利用 占有率	主要樹種 および平均 収獲量率	土地 利用 占有率			
大野 町	1 類地															国営大野地区総合かんがい排水事業
	2 類地	112,122	8	A	水稻 100			D	りんご 105							
	3 類地	113,123,131, 132,133	33	C	水稻90	C	馬鈴薯 90 アスパラ 110 トマト 110									
	4 類地	141,142,143, 144,233,241, 242,243	55						D	牧草 100	C	トドマツ 70	B	広葉樹(ブナ) 70		
	5 類地	151,152,153, 244,251,252, 253,254	36								C	スギ 70 トドマツ 60	B	広葉樹(ブナ) 50		
	6 類地	145,235	4						A	牧草 95						
	7 類地															
	8 類地		2													
市町村計		138														
七飯 町	1 類地														国営大野地区総合かんがい排水事業	
	2 類地	112,122	26	D	水稻 100			D	りんご 110			C	広葉樹 90			
	3 類地	113,123,132, 133,231,232,	31	D	水稻90	C	馬鈴薯 110 アスパラ 110 きゅうり 90									
	4 類地	114,124,142, 144,241,242, 243	50						D	牧草 105 (人工草地)	D	トドマツ 70	B	広葉樹 70		
	5 類地	224,234,244, 251,252,254, 341	9										A	広葉樹 50		
	6 類地	324,334,344, 354,115,125, 135,145,155, 235,245,255,	79						D	牧草 95 (人工草地)	C	カラマツ 40 トドマツ 40				
	7 類地	240,420,424	7										A	広葉樹 10		
	8 類地		11													
市町村計		213													大沼 小沼	

市町村名	類地区分	土地利用の現況														備考	
		水田		畑				草地		林地				空地・その他			
				普通畑		樹園地		土地利用 占有率	草地の種類 および平均 収穫量率	人工林		天然林					
		土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率			土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率			
戸井町	1 類地																
	2 類地																
	3 類地	113,132,133	4		B	アスパラ	105				C	トドマン	70	C	広葉樹	80	
	4 類地	141,142,143	34						D	牧草	95	D	カラマツ	80	A	広葉樹	60
	5 類地	151,152	11											A	広葉樹	40	
	6 類地																A原野
	7 類地	110,130,140, 150	4														
	8 類地																
市町村計		53															
尻岸内町	1 類地	111	1	A	水稻	95											
	2 類地	112,122	3						C	牧草	95			B	広葉樹	80	
	3 類地	113,132,133	7		D	きゅうり	90					C	トドマン	70	B	広葉樹	60
	4 類地	141,142,143 144,241	45									D	トドマン	50	A	広葉樹	50
	5 類地	151,152,153 251,253	35											A	広葉樹	40	
	6 類地	115,135	1														A原野
	7 類地	120,140	4														
	8 類地																
市町村計		96															

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の 現 況													備 考		
			水 田			畑				草 地		林 地					空地・	
	類地区分および包含される示性式	面積 Km ²	土 利 用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占 有 率			
					土 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率			土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率				
般 法 華 村	1 類 地																	
	2 類 地	122	1								A	トドマン	80					
	3 類 地	113,123,132, 133	6			D	馬鈴薯 70 小豆 70				A	トドマン	70					
	4 類 地	134,141,142, 143	12											A	広葉樹	70		
	5 類 地	152,153,251, 253	4											A	広葉樹	50		
	6 類 地																	
	7 類 地	120,140,162, 250,260	2											A	広葉樹	10		
	8 類 地																	
市 町 村 計		25																
南 茅 部 町	1 類 地																	
	2 類 地	211	3															A原野 (ササ 群落)
	3 類 地	131	5											A	広葉樹(フナ)	60		
	4 類 地	124,134,141, 142,143,144, 233,241,242, 243	93			(D)	アズベラ 100 小豆 80		(D)	牧草	80	D	トドマン	60	A	広葉樹	50	
	5 類 地	151,153,154, 244,251,253, 331	21											A	広葉樹	40		
	6 類 地	344,135,145, 155,245,255	30									D	トドマン	10			A原野	
	7 類 地	120,130,140, 150,330	7															
	8 類 地																	
市 町 村 計		159																

市町村名	類地区区分	土地利用の現況														備考	
		水田		畑				草地		林地				空地・その他			
		土地利用占有率	平均収獲量率	土地利用占有率	主要作物および平均収獲量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収獲量率	土地利用占有率	草地の種類および平均収獲量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収獲量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収獲量率	土地利用占有率			
鹿部村	1 類地																
	2 類地	112,221	2											A 広葉樹	80		
	3 類地																
	4 類地	114,124,134,144,241	36		(D) 馬鈴薯 80 小豆 80			D 牧草	95	D カラマン	60	A 広葉樹	50				
	5 類地	244,251,254,341	8									A 広葉樹	40				
	6 類地	344,354,125,135,145,155,225,245,255	57							D カラマン	40	A 広葉樹	30				
	7 類地	110,120,220,230,340	6		A 小豆	80											C 原野
	8 類地		3														
市町村計		112															
砂原町	1 類地																
	2 類地	112	1														A 原野 (ササ群落)
	3 類地	113,123	6		B アスパラ 100 小豆 80					C カラマン	70						
	4 類地	114,124,	13		D アスパラ 95 小豆 80			D 牧草 (人工草地)	90			C 広葉樹	60				
	5 類地																
	6 類地	115,125,135,145,245,255	25					D 牧草	85	D カラマン	30	B 広葉樹	10				
	7 類地	110,120,130,230,240,250,340,350,450	8														
	8 類地		4														A 裸地
市町村計		57															

国営駒ヶ岳地区畑地帯総合土地改良パイロット事業

市 町 村 名	類地区分 お び 包 含 さ れ る 示 性 式	面積 Km ²	土 地 利 用 の 現 況														備 考		
			水 田			畑				草 地		林 地				空地・			
			土 利 占 有 率	平 均 収 穫 量	取 量	土 利 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量	土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量	取 量	土 利 占 有 率	草 地 の 種 類	お よ び 平 均 収 穫 量	土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量	土 利 占 有 率		主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量	土 利 占 有 率
森 町	1 類 地																		国営駒ヶ岳 地区畑地帯 総合土地改 良パイロッ ト事業
	2 類 地	112,122	14	D	水稲90	C	とうもろこし 90 小豆 90										D	広葉樹 110	
	3 類 地	113,123,133	28			D	とうもろこし 90 小豆 90						D	カラマツ 90	D	広葉樹 100			
	4 類 地	114,124,134, 143,144,243	95			C	アスパラ 90 メロン 90 かぼちゃ 95		(D)	牧草 95	D	カラマツ 70	B	広葉樹 80					
	5 類 地	153,154,244, 253,254	47										A	広葉樹(フナ) 60					
	6 類 地	354,115,125, 135,145,155, 235,245,255	106										C	トドマツ 40 カラマツ 40	B	広葉樹(フナ) 40			
	7 類 地	110,120,164, 165,240,250, 264,265	16										A	広葉樹(フナ) 10					
	8 類 地	7																	
市 町 村 計		313																	
八 雲 町	1 類 地																		国営北部地 区直轄明渠 排水事業
	2 類 地	112,122	51	D	水稲85	B	牧草 105												
	3 類 地	113,123,132, 133	168			B	ビート 110 大豆 85 小豆 85		D	牧草 100									
	4 類 地	114,124,134, 141,142,143, 144,233,241, 242,243,	344						(D)	牧草 95	D	カラマツ 70 トドマツ 80	A	広葉樹(フナ) 80					
	5 類 地	151,152,153, 244,251,253, 254	110										A	広葉樹(フナ) 60					
	6 類 地	115,125,135, 145,245	26			D	大豆 80 小豆 80						A	広葉樹(フナ) 40					
	7 類 地	230,240,250, 340,350,450	33						D	牧草 85 (人工草地)			A	広葉樹(フナ) 10					
	8 類 地	4																	
市 町 村 計		736																	

市 町 村 名	類地区分 および包含される 示性式	面積 Km ²	土 地 利 用 の 現 況													備 考
			水 田		畑				草 地		林 地				空地・	
			土 地 利 用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類	人 工 林		天 然 林		土 地 利 用 占 有 率	
					土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率			土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率		
長 万 部 町	1 類 地															国営長万部 右岸地区直轄 明渠排水 事業
	2 類 地	112,122	34		C	アスパラ 95 小豆 90										
	3 類 地	113,123,131, 132,133,222	81	(D)	水稲 80	D	とうもろこし 90		D	牧草 95		B	広葉樹 100			
	4 類 地	114,141,142, 143,241,242	150							D	トドマツ 80 カラマツ 70	A	広葉樹 80			
	5 類 地	151,152,153, 251,253,254	31									A	広葉樹 60			
	6 類 地	344,354,115	6									A	広葉樹 40			
	7 類 地	140	1													
	8 類 地		5													
市 町 村 計		308														
江 差 町	1 類 地															国営厚次部 川地区直轄 かんがい排 水事業
	2 類 地	112,122	10	A	水稲100											
	3 類 地	113,123,131, 132,133	35	(D)	水稲 95				D	牧草 90		B	広葉樹(フナ) 90			
	4 類 地	141,142,143, 243	53	(D)	水稲 90	D	アスパラ 95 小豆 90			D	トドマツ 70	C	広葉樹(フナ) 70			
	5 類 地	151,152	4							A	トドマツ 40					
	6 類 地	115,135	2												A原野	
	7 類 地	110,130,140, 161,162	3													
	8 類 地		3													
市 町 村 計		110														

市 町 村 名	類 地 区 分 類地区分および包含される示性式		土 地 利 用 の 現 況														備 考	
			水 田		細				草 地		林 地				空地・その他			
					普通畑		樹園地		土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林					
					土 地 利 用 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率			土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率		土 地 利 用 占 有 率		
上 ノ 国 町	1 類 地	111	1														国営上ノ国 地区直轄明 渠排水事業	
	2 類 地	112	15	B	水稻100													
	3 類 地	113,123,131, 132,133,231	25	D	水稻 95				C	牧草 105			D	広葉樹(ブナ) 80				
	4 類 地	114,142,143, 144,233,241, 242,243	229									D	カラマツ 60	A	広葉樹(ブナ) 60			
	5 類 地	151,152,153, 154,251,252, 253,343	234			(D)	アスパラ 100 小豆 90							A	広葉樹(ブナ) 50			
	6 類 地	353,115,125, 135,145,155	9															A原野
	7 類 地	120,140,150, 160,161,162, 261,263,363	31											A	広葉樹(ブナ) 10			
	8 類 地		3															
市 町 村 計		547																
厚 沢 部 町	1 類 地	111	1	A	水稻105												国営厚沢部 川地区直轄 かんがい排 水事業	
	2 類 地	112	21	B	水稻100	C	とうもろこし 90 小豆 90 大豆 90		D	牧草 105								
	3 類 地	113,123,131, 132,133	101	D	水稻 95	D	馬鈴薯 100											B原野 (ササ 群落)
	4 類 地	141,142,143, 241,242,243	215									D	トドマツ 90 カラマツ 90	A	広葉樹(ブナ) 80			
	5 類 地	151,152,153, 244,251,252, 253,254	109											A	広葉樹(ブナ) 70			
	6 類 地	354,115,125, 135,145,155	12			D	小豆 85 大豆 85 小麦 95											
	7 類 地	240,340,350, 450	6															
	8 類 地																	
市 町 村 計		465																

市町村名	類地区区分		土地利用の現況													備考	
			水田		畑				草地		林地				その他		
			土地利用 占有率	平均収 穫量率	普通畑 土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	樹園地 土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	草地の種類 および平均 収穫量率	人工林 土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	天然林 土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収穫量率	土地利用 占有率		
乙部町	1類地																
	2類地	112,122	6	B	水稲 95						D	牧草 95					
	3類地	113,123,131, 132,133,231	62	D	水稲 90	D	アスパラ 小豆 110 95						C	カラマン 80	B	広葉樹(フナ) 70	
	4類地	141,142,143, 233,241,242	72										D	カラマン 60	A	広葉樹(フナ) 50	
	5類地	244,251,254	9												A	広葉樹(フナ) 40	
	6類地	351,115,145	5												A	広葉樹(フナ) 20	
	7類地	110,130,140, 230,240,340, 350	9														
	8類地		2														
市町村計		165															
石熊町	1類地	111	4	D	水稲 95										B	広葉樹(フナ) 110	
	2類地	112,121,122	5	C	水稲 90	D	アスパラ うめ 100 95			(D)	牧草 90				B	広葉樹(フナ) 100	
	3類地	113,123,131, 132,133	12												A	広葉樹(フナ) 90	
	4類地	114,124,141, 233,241,242, 243	70												A	広葉樹(フナ) 70	
	5類地	151,244,251, 252,253,254, 341,343	92												A	広葉樹(フナ) 50	
	6類地	351,353,125, 135,255	12												A	広葉樹(フナ) 40	
	7類地	110,130,140, 230,240,250, 340,350,443, 450,453	25												A	広葉樹(フナ) 10	
	8類地																
市町村計		220															

市 町 村 名	類 地 区 分 類地区分および包含される示性式		土 地 利 用 の 現 況												備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地					空地、その他	
					普通畑	樹園地	土地利用	草地の種類	人工林	天然林	土地利用						
面積 Km ²	土地利用 占有率	平均収 穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率				
大 成 町	1 類地																
	2 類地	112,121	5	C	水稻 95	C	アスパラ 110 小豆 90					D	広葉樹(ブナ) 100				
	3 類地	123,131,133	11			D	馬鈴薯 90 アスパラ 100					A	広葉樹(ブナ) 90				
	4 類地	141,241,243	56									D	トドマツ 80	A	広葉樹(ブナ) 70		
	5 類地	151,153,251, 253,341,343	42										A	広葉樹(ブナ) 50			
	6 類地	351,115,125, 135	3														
	7 類地	120,130,140, 150,160,161, 261,263,340, 441	17										B	広葉樹(ブナ) 10	C 裸地		
	8 類地																
市 町 村 計		134															
奥 尻 町	1 類地	111	2										A	広葉樹(ブナ) 110			
	2 類地	112,121,122	20						C	牧草 100			B	広葉樹(ブナ) 100			
	3 類地	113,123,131, 133,231	54	(D)	水稻 95	(D)	馬鈴薯 90 小豆 95		D	牧草 95			B	広葉樹(ブナ) 90			
	4 類地	124,141,143, 144,241	43										A	広葉樹(ブナ) 70			
	5 類地	151,154,234, 251	15										A	広葉樹(ブナ) 50			
	6 類地	115	1														
	7 類地	110,120,130, 140,150	8														
	8 類地																
市 町 村 計		143															

市 町 村 名	類 地 区 分 類地区分および包含される示性式		土 地 利 用 の 現 況														備 考
			水 田			畑				草 地		林 地				空地・その他	
						普通畑		樹園地		土 地 利 用 占 有 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 量 率	人 工 林		天 然 林			
			土 利 占 有 率	平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率			主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 利 占 有 率		
瀬 柳 町	1 類 地																道管西大里地区農地開発事業
	2 類 地	112,121	3			A	小豆 90 大豆 90										
	3 類 地	113,123,131, 132,133,231	19			A	馬鈴薯 100 アスパラ 100										
	4 類 地	114,141,143, 241,243	22	D	水稻 90	D	馬鈴薯 100				D	トドマツ 80	D	広葉樹(ブナ)			
	5 類 地	151,153,244, 251,253,254	36											A	広葉樹 50		
	6 類 地	344,354,115	6														
	7 類 地	120,140,150, 160,161,163, 250,261,263, 350,420,450	39											A	広葉樹 10		
	8 類 地		1														
市 町 村 計		126															
北 檜 山 町	1 類 地																国営北檜山左岸地区及び北檜山右岸地区直轄かんがい排水事業
	2 類 地	112,122	23	C	水稻 105				D	牧草 105							
	3 類 地	113,123,131, 132,133	64	D	水稻 105	D	馬鈴薯 105 アスパラ 110 小豆 95						C	広葉樹(ブナ) 80			
	4 類 地	114,134,141, 142,143,144, 241,243	187								C	トドマツ 90	B	広葉樹(ブナ) 70			
	5 類 地	151,152,153, 154,244,251, 253,254,341, 343	65								D	カラマツ 60	A	広葉樹(ブナ) 50			
	6 類 地	344,351,353, 115,145	12														
	7 類 地	130,140,150, 160,161,250, 261,263,350, 364,441,442, 450,464	21										A	広葉樹 10			
	8 類 地		3														
市 町 村 計		375														利別川	

市 町 村 名	類地区分 および 包含さ れる示 性式	土 地 利 用 の 現 況														備 考	
		水 田		畑				草 地		林 地				空地・			
		土利 占有率	平均 収 穫量率	普通畑	樹園地	土利 占有率	草地の種類 および平均 収穫量率	土利 占有率	人工林	天然林	その他	土利 占有率					
今 金 町	1 類地															國營北檜山 左岸地区及 び北檜山右 岸地区直轄 かんがい排 水事業	
	2 類地	112,122	28	B	水稻105								C	広葉樹(フナ) 100			
	3 類地	113,123,132, 133	83	C	水稻 95	D	馬鈴薯 105 アスパラ 110		D	牧草 110			D	広葉樹(フナ) 90			
	4 類地	141,142,143 144,233,241, 242,243	318			C	馬鈴薯 105 小豆 100					D	トドマツ 70				
	5 類地	151,152,153, 154,234,244, 251,252,253, 254	81									D	トドマツ 60				
	6 類地	334,344,351, 354,115,125	26											A	広葉樹(フナ) 40		
	7 類地	110,161,261, 263,264,364, 464	31									C	トドマツ 10	B	広葉樹 20		
	8 類地		3														
市 町 村 計		570														利別川	

- 注 1. 8 類地は、湖沼、河川、市街地である。
2. 土地占有率は次の区分による。
- A (75 % 以上) , B (50 ~ 74 %) ,
C (25 ~ 49 %) , D (25 % 未満) .
(D) は 5 % 未満であるが、特記すべきものを示した。
3. 水田、畑、草地の各利用種については、
農林統計及び関係機関と協議し既定した。
4. 林地の各樹種は、現存植生図(昭50・51
年、環境庁)を参考に関係機関と協議し既定した。

